

## 第2次総合計画 令和元年度 施策評価シート

理念	基本目標	基本施策			
			H30評価	R1評価	
安心	安心して暮らす	1. 安心して子どもを育てる	C	C	P1
		2. 安心して働ける	B	B	P4
		3. 健康を維持・増進する	A	B	P6
		4. 日々の暮らしを守る	C	C	P10
	生命と財産を守る	5. 医療と救急を充実する	B	B	P13
		6. 犯罪や事故を防ぐ	B	B	P17
		7. 災害から身を守る	C	B	P19
快適	まちの魅力を高める	8. 自然を守り、活かす	D	D	P21
		9. 魅力あるまち並みを創る	C	C	P23
		10. 歴史・文化を活かす	C	D	P25
	便利に暮らす	11. 戦略的に道路をつくる	B	B	P27
		12. 移動手段を充実する	D	D	P28
		13. 便利な消費生活を送る	B	B	P29
		14. 暮らしやすさを保つ	B	B	P30
活力	いきいきと暮らす	15. 学ぶ力をつける	C	B	P33
		16. 共に生きる力をつける	B	C	P37
		17. 生きがいを持って暮らす	C	D	P39
	みんなでまちをつくる	18. まちの担い手になる	B	D	P40
		19. 地域自治力を高める	B	C	P42
		20. さまざまな担い手がつながる	-	-	P44
	まちを元気にする	21. 産業を育成・支援する	C	C	P45
		22. 交流と連携で元気になる	B	B	P48
		23. 持続可能型の社会をつくる	B	B	P50
市政の運営		24. 市民サービスが向上する	B	B	P52
		-	1	1	
		A	1	0	
		B	12	13	
		C	8	5	
		D	2	5	
		計	24	24	

## 施策事業評価について

### ・効果検証の基準

評価	大区分	中区分	対応
A	目標指標を半数以上達成している	全ての目標指標を達成するなど大いに成果が得られた場合。	今後も事業を継続する。
B		一部の目標指標に達しなかったものの、概ね成果が得られた場合。	事業内容の改善を行いながら事業を継続する。
C	目標指標の達成状況が半数未満	目標指標達成状況は芳しくないが、事業開始前よりも取組が前進、改善した場合。	事業内容について見直しを実施する。
D		目標指標達成状況が芳しくなく、取組としても前進、改善したとは言えない場合。	事業について廃止、見直し又は新規事業を検討する。

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	1 安心して子どもを育てる		
目指す方向	子どもを安心して産み育て、家族が健やかに成長することができる地域での子育て環境づくりを目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①出生数(単位:人)	目標		354	361	368	375	381	C
	結果	378	290	297	300	266	×	
②合計特殊出生率(単位:-)	目標		1.64	1.68	1.72	1.76	1.80	
	結果	1.64	1.52	1.39	1.45	1.56	×	
③子育て環境が良いと感じている子育て中の市民(単位:%)	目標		37.0	39.0	41.0	43.0	45.0	
	結果	36.2	33.4	24.6	25.8	29.7	×	
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①出生数 (単位:人)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「①出生数」については、前年に比べ、全国では△5.9%、岐阜県では△5.68%と減少しているが、恵那市では△11.3%と減少幅が大きくなっている。	・人口減少対策を継続的に実行し特に子育て世代の定住を推進していく必要がある。		
1	妊娠・出産支援事業	①②	妊娠中の母子の健康状態を確認し、妊娠中を健やかに過ごし、安心して出産を迎えるために、妊婦健康診査受診券を発行し、費用の助成を実施します。また、少子化対策のために、不妊治療を受ける夫婦(一般及び男性)に対し費用の助成を実施します。 ・妊産婦健康診査費助成 ・不妊治療費助成 ・産後の宿泊型、デイケア型による育児支援	41,928	41,165	36,017
2	産婦人科推進事業	①②	安心して子どもを産み育てられるように、市立恵那病院に産婦人科を設置し、健診や出産できる環境を整えます。また、小児科医の確保など、運営環境を整えます。[産婦人科 H28:準備、H29-:運営] ・産婦人科推進・運営	110,000	110,000	130,000

②合計特殊出生率 (単位:-)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「②合計特殊出生率」については、全国では△0.03%、岐阜県では△0.01%と減少しているのに対し、恵那市では0.06%と、目標値には達していないが増加傾向を示しており、一人当たりの女性(15-49歳)が生む子の数は少しずつではあるが改善傾向にある。	・人口減少対策を継続的に実行し特に子育て世代の定住を推進していく必要がある。		
1	妊娠・出産支援事業	①②	妊娠中の母子の健康状態を確認し、妊娠中を健やかに過ごし、安心して出産を迎えるために、妊婦健康診査受診券を発行し、費用の助成を実施します。また、少子化対策のために、不妊治療を受ける夫婦(一般及び男性)に対し費用の助成を実施します。 ・妊産婦健康診査費助成 ・不妊治療費助成 ・産後の宿泊型、デイケア型による育児支援	41,928	41,165	36,017
2	産婦人科推進事業	①②	安心して子どもを産み育てられるように、市立恵那病院に産婦人科を設置し、健診や出産できる環境を整えます。また、小児科医の確保など、運営環境を整えます。[産婦人科 H28:準備、H29-:運営] ・産婦人科推進・運営	110,000	110,000	130,000

③子育て環境が良いと感じている子育て中の市民 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			<p>・「③子育て環境が良いと感じている子育て中の市民」について、目標には達していないものの、H29年度より増加傾向にある。特に前年に比べ3.9%増加しており、新たに「子ども子育て支援総合窓口」の設置したこと、子育てに役立つ保健、福祉、教育、医療などの情報をコンパクトにまとめた小冊子「大きなあれ」を幅広く配布したことなどが数値に反映されたものと考えられる。</p> <p>・放課後児童クラブは、利用者の増加もあって2クラブ増設したが、運営は子どもを預けている保護者が担っており、高齢化する指導員の確保などが課題となっている。</p> <p>・市民意識調査の意見の中で、「子育てに関する経済的支援の充実」を求める意見が多くなっているが、令和元年10月から3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園等の利用料が無償化され、0歳から2歳までの住民税非課税世帯も無償化され、経済的支援が行われたことは子育て環境の改善に繋がる大きな変化であった。</p> <p>・市内のこども園等の体制を充実させるため、将来市内のこども園等において保育教諭として勤務を希望する者に対し、就学資金を貸し付ける制度を創設し、保育教諭の確保に努めているところである。</p>			
1	子ども等福祉医療費助成事業	③	<p>市内に住所を有する子ども(0歳から中学校卒業まで)の医療費を助成します。また、子どもが重度心身障害者(身体障害者手帳1級～4級等、療育手帳A1・A2・B1、精神障害者保健福祉手帳1級～3級)、ひとり親家庭等(母子・父子家庭等の父母等及び子ども)の場合の医療費を助成します。</p> <p>・受給対象者への医療費助成(子ども、重度心身障害者、ひとり親家庭等)</p>	574,829	540,857	545,874
2	ファミリーサポートセンター事業	③	<p>子育て中の保護者を応援するため、会員同士が助け合い育児の相互援助を目的に、会員からの依頼による登園前の預かり及び園・学校から帰宅後の預かり、家族が外出する際の子どもの預かりの他、援助会員育成のための子育てサポーター養成講座や、キャリアアップ研修会を開催します。</p> <p>・ファミリーサポートセンター事業</p>	5,482	5,600	5,499
3	こども発達センター事業	③	<p>ことばや心身等の発達につまずきがあり、本来の能力が十分発揮できない児童に対して、一人ひとりに適した指導により健やかな発達を促し、早期発見、早期指導を行うとともに、障害児通所支援事業施設(児童福祉法第6条の2の2)の運営及び維持管理を行います。</p> <p>・子ども発達センター(にじの家・おひさま)事業</p>	12,603	12,216	11,372
4	放課後児童対策事業	③	<p>子育て家庭の保護者が安心して働ける環境づくりを支援するため、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後や土曜日・長期休暇等の学校休業日に、家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより児童の健全育成や安全の確保を図るよう「放課後児童クラブ」を拡充します。</p> <p>・放課後児童クラブ学校内移転整備・環境整備工事 ・放課後児童クラブ運営委託 ・新型コロナウイルス対策放課後児童クラブ等昼食支援</p>	125,212	134,873	166,738
5	子ども・子育て支援事業	③	<p>妊娠・出産・子育てまで、切れ目のない支援を提供するため、子ども子育て支援総合窓口「子育て世代包括支援センター」(通称 えなっ宝ほっとステーション)を開設し、利用者支援を実施します。また、病児保育事業では、働きながら安心して子育てできる環境を整備するため、市立恵那病院で病児保育施設を開設できるよう調整し、事業委託します。</p> <p>・冊子「子育て応援情報誌」を刷新・配布 ・病児保育</p>	11,354	22,459	11,683
6	児童家庭支援事業	③	<p>児童虐待の防止、ひとり親の自立や生活支援、DVなどの様々な相談に対応するため、家庭児童相談員、ひとり親自立支援員を配置します。一定の生活を確保するための母子生活支援や社会復帰を目指すためのひとり親の高等技能訓練等の支援に繋がります。</p> <p>・母子家庭自立支援 ・ひとり親家庭等日常生活支援事業</p>	11,975	15,611	16,757
7	子育て支援センター事業	③	<p>子育ての負担感、不安感の軽減を目的に、未就園児とその保護者を主な対象とし、親子の交流の場の提供、情報提供、子育てに関する相談、子育て支援講座を実施します。</p> <p>・子育て支援の拠点施設(こども元気プラザ、地域子育て支援センター等)</p>	24,644	24,208	20,259
8	障がい児通所支援給付事業	③	<p>早期療育を必要とする児童のため、日常生活における基本的動作を習得し、知識技能を身につけ、集団生活に適應できるよう、児童福祉法に基づく障害児通所給付費および障害児相談支援給付費を給付します。</p> <p>・児童発達支援給付 ・放課後等デイサービス給付 ・障害児相談支援給付</p>	118,371	134,917	150,700

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
9	こども園教育・保育推進事業	③	多様化する就業形態、ライフスタイルの変化に対応し、市内全ての地域で共通の幼児教育・保育を提供するため、こども園を運営します。 ・こども園運営	1,065,893	1,059,694	1,059,930
10	こども園建設事業	③	誰もが安心して子育てができる教育・保育サービスの提供を行うため、老朽化が進む長島・二葉こども園を統合し、新こども園として整備を実施します。 [H28: 建築設計、H29-30: 建築工事] ・旧二葉こども園園舎解体工事	578,636	698,608	13,878
11	教育・保育施設支援事業	③	安定した保育を提供するため、私立保育園の運営を支援します。 ・私立保育園2園への運営費補助 ・認可小規模保育事業所1ヶ所の運営費補助 ・保育所等整備補助	209,531	243,505	225,554
12	地域型保育支援事業	③	増加傾向にある未満児保育ニーズに対応するため、市が認可した地域型保育事業(小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育)への支援を行います。	0	243,505	0
13	母子保健事業	③	妊娠中から幼児期まで、健やかなこどもの成長発達を促し、安心して子育てができるために、妊娠中の支援(母子手帳交付・妊婦教室等)からこどもの健診(4ヶ月・1歳6ヶ月・3歳)、教室(乳幼児教室・あそびの教室等)相談(なんでも相談・運動発達相談・心理相談等)、訪問事業を実施します。 ・健診(乳幼児期)・相談・教室・訪問指導 ・健診、教室、相談の医師、歯科医師の業務委託	3,980	3,532	5,243
14	私立幼稚園支援事業	③	就学前の教育環境を整備するため、幼稚園就園を奨励し、私立幼稚園入園児保護者の保育料等の負担軽減を実施します。 ・就園奨励費補助 ・施設等利用給付	26,399	28,190	41,848
15	こども園発達障がい児等支援事業(R1～)	③	発達障がいや特別な配慮が必要な園児に対して、自立と社会参加に必要な力を培うため、子どもの状態に応じた適切な指導及び必要な支援を行います。 【平成30年度までは、こども園教育・保育推進事業の中で実施】 ・特別な配慮が必要な園児に対して、状態に応じた適切な指導及び必要な支援	—	—	53,863

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	2 安心して働ける		
目指す方向	市内や通勤可能な地域において魅力ある雇用の場を創出するとともに、仕事と生活の調和が配慮された安心して働くことができる環境をつくります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①一般(フルタイム)年間平均有効求人倍率(単位:-)	目標	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	○	B
	結果	1.01	1.14	1.33	1.61	1.49		
②働く環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標	49.0	49.5	50.0	50.5	51.0	×	
	結果	48.6	48.4	42.9	47.0	47.9		
③子育て支援企業の登録企業数(単位:事業所数)	目標	40	50	60	70	75	○	
	結果	31	74	78	83	85		
目標								
結果								
目標								
結果								

①一般(フルタイム)年間平均有効求人倍率(単位:-)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「①一般(フルタイム)年間平均有効求人倍率」については、通年では前年度より0.12下がっただけであるが、毎月の変化を追うと、12月から2月まで1.70前後を維持していた倍率が、3月には1.22まで下がっており、今後、注視していく必要がある。</p> <p>・大学生、一般の方、Uターン希望者などに向けてウェブサイトでも市内企業の紹介をする一方で、説明会を開催し、地元企業への就職を促している。その他、大学生にはインターシップの情報提供、中高生には市内企業のバスツアーを企画するなどして市内企業の認知度を高めることに努めている。</p>	<p>・市内の企業の認知度を高めることで地元企業への就職率を上げていく取組が必要である。</p> <p>・恵那くらしビジネスサポートセンターを中心とした市内企業の人材確保の支援やジバスクラム恵那にて地域資源のブランド化や地域内外への販売等の仕組みづくりを強化する必要がある。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	企業誘致推進事業	<p>①② 雇用の場を増やすため、魅力ある企業の誘致を推進します。また、既存企業活性化のための支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地奨励金</li> <li>・えなじ～オフィス展開プロジェクト業務委託</li> </ul>	123,281	88,862	59,844

②働く環境に不満を感じていない市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「②働く環境に不満を感じていない市民」については、目標達成には至らなかったが、数値は増加傾向にある。ただし、市民意識調査において、「職種が少ない」との意見も見受けられるため、市民の希望する職種が市内にないことが課題としてあげられる。</p>	<p>・サテライトオフィスやテレワークの推進などの施策を検討する必要がある。</p> <p>・工業団地の整備や本社機能移転に関する誘致についても取組をさらに進める必要がある。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	企業誘致推進事業	<p>①② 雇用の場を増やすため、魅力ある企業の誘致を推進します。また、既存企業活性化のための支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地奨励金</li> <li>・えなじ～オフィス展開プロジェクト業務委託</li> </ul>	123,281	88,862	59,844
2	労働対策事業	<p>②③ 市内企業で若者や女性が安心して働ける環境整備に向け、恵那市雇用マスタープランを策定し事業を推進します。また、U・ターンの促進及び勤労者のための住宅・生活資金貸付事業等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用対策協議会事業</li> <li>・勤労者住宅・生活資金預託金</li> </ul>	54,620	43,933	43,361

③子育て支援企業の登録企業数 (単位:事業所数)		評価の内容		今後の方向性			
		<p>・「③子育て支援企業の登録企業数」については、市民意識調査において、「あなたは、今後、恵那市に住み続けるために、何を伸ばしていくべきだと思いますか」との設問で、「働く環境」が52.3%と最も高く、自由意見では「子育てをしながら働ける場所がない」といった意見も散見された。</p> <p>・企業誘致や再就職のためのセミナー・説明会の開催により若者の就職や出産、育児に一時的に離職した女性の再就職や起業をするための支援を継続的に行っている。</p>		<p>・「子育てしながらでも働ける」場所としてワークライフバランス登録されている企業を周知をする。また企業側に対して、ワークライフバランス登録企業の推進をする。</p>			
		事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1		労働対策事業	②③	<p>市内企業で若者や女性が安心して働ける環境整備に向け、恵那市雇用マスタープランを策定し事業を推進します。また、U・Iターン促進及び勤労者のための住宅・生活資金貸付事業等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用対策協議会事業</li> <li>・勤労者住宅・生活資金預託金</li> </ul>	54,620	43,933	43,361

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	3 健康を維持・増進する		
目指す方向	一人ひとりが健康についての意識を高めて、できるだけ元気に長寿社会を楽しむことができるよう、地域と連携して健康寿命の延伸を推進します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①男平均健康寿命(単位:歳)	目標	70.80	70.90	71.20	71.50	71.80	×	B
	結果	70.72	71.56	71.70	71.23	70.76		
①女平均健康寿命(単位:歳)	目標	74.30	74.40	74.60	74.80	75.00	○	
	結果	74.18	76.38	76.45	76.01	74.81		
②介護保険給付費(単位:百万円)	目標	5,438	5,602	5,586	5,561	5,602	○	
	結果	5,132	5,132	5,111	5,241	5,303		
③第1号被保険者(65歳以上)の介護認定率(単位:%)	目標	17.2	17.5	17.7	17.8	18.0	○	
	結果	17.1	16.8	16.9	16.9	17.1		
④第2号被保険者(40歳~64歳)の介護認定率(単位:%)	目標	0.34	0.34	0.33	0.33	0.32	○	
	結果	0.33	0.32	0.32	0.33	0.33		

①男女平均健康寿命(単位:歳)	評価の内容		今後の方向性		
	「①男女平均健康寿命」については、市民意識調査の「問19-②あなたの現在の健康状態はいかがですか?」では、「あまりよくない・よくない」が21.8%と、昨年比で△1.4%増加している。また、男性の平均寿命と健康寿命の差は、10.0歳、女性の平均寿命と健康寿命の差が12.1歳と差が大きくなっており、この差を縮めていくことが課題となる。 各種検診で、がんの早期発見、早期治療のための、受診券を発行し個別の受診勧奨を実施しており、実際に早期がん発見につながった方は3件(H30)あった。一方では、特定健診の受診率が伸び悩んでおり、恵那市国保特定健診では、「高血圧」の方の割合が県下2位と高いため、検診内容、実施場所など、受診率向上や、健康寿命の延伸につながるよう検討していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病の早期発見のため、検診等を多くの市民が受診できるよう検査項目、実施方法を検討し、受診率の向上に努める必要がある。</li> <li>・民間施設やスポーツ施設を活用した健康づくり教室を実施するなど、介護予防活動の普及・啓発を引き続き行なう。</li> <li>・平均寿命の延伸に伴い、健康寿命との差が拡大すれば、医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大することになるため、疾病予防と健康増進、介護予防などの取組が重要となる。</li> <li>・健康を保つため地域を巻き込んだ取組も必要である。</li> <li>・健診データから自分の健康状態を認識し、自ら生活習慣病を予防する方法を選択できるように働きかけを行う。</li> </ul>			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 山岡健康増進センター管理運営事業	①② ③④	「健幸都市宣言」を推進するため、広く市民の利用を促すとともに、閉じこもりの防止や要介護状態になることを予防し、健康の維持・増進を図ります。 ・山岡健康増進センター維持管理	24,299	21,926	19,690
2 がん検診事業	①② ③④	がん(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳)検診の推進。・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業に基づくがん検診(20歳(子宮がん)・40歳(乳がん)と節目年齢で過去未受診者による勧奨)・働く世代への女性支援のためのがん検診推進事業に基づくがん検診を実施します。 ・がん検診(胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん)	22,408	26,375	30,202
3 健幸まちづくり事業	①② ③④	恵那市健幸のまちづくり行動計画に基づき市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことによって、健やかで幸せな生活を送ることができるように、運動・スポーツ・食生活に関する事業を積極的に推進します。 ・健康フェスタinえな ・エーナ健康レシビコンテスト ・エーナ料理教室	6,592	5,447	6,379
4 保健推進事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、特定健康診査等事業(特別会計事業)と連携しながら、若年層・節目年齢健診による保健指導の推進及び重症化予防のための訪問指導、健康相談、健康教育を実施します。 ・若年層健診(18-40歳) ・節目年齢健診(40-60歳の間に5年ごと)	5,436	4,122	4,870
5 特定健康診査等事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、保健推進事業(一般会計事業)と連携しながら、特定健診・すこやか健診による保健指導を推進します。 ・特定健診(40-74歳) ・すこやか健診(75歳(一定の障がいがあると認定された方は65歳)以上の方)	41,647	40,426	42,815



②介護保険給付費 (単位:百万円)	評価の内容			今後の方向性				
	<p>・「②介護保険給付費」については、各地域の壮健クラブや高齢者サロン等で、高齢者が自発的な介護予防に取り組めるように参加を呼び掛け介護予防への取り組みを支援等した事により、介護保険給付費が大きく増加することを抑制できていると思われる。</p>			<p>・介護予防の取組が継続的に必要である。 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組める体制を作っていく。</p>				
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	山岡健康増進センター管理運営事業	①② ③④	<p>「健幸都市宣言」を推進するため、広く市民の利用を促すとともに、閉じこもりの防止や要介護状態になることを予防し、健康の維持・増進を図ります。 ・山岡健康増進センター維持管理</p>			24,299	21,926	19,690
2	歯科保健推進事業	②③④	<p>乳児期から高齢期まで、歯と口腔の健康を保ち健やかで豊かな生活が送れるように、ライフステージ別に、健診(1歳6ヶ月・2歳・3歳・成人期)、教室(乳幼児期)、巡回指導等を実施します。 ・歯みがき教室 ・こども園、幼稚園歯科衛生巡回指導 ・巡回歯科保健サービス</p>			4,191	4,151	3,873
3	がん検診事業	①② ③④	<p>がん(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳)検診の推進。・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業に基づくがん検診(20歳(子宮がん)・40歳(乳がん)と節目年齢で過去未受診者による勧奨)・働く世代への女性支援のためのがん検診推進事業に基づくがん検診を実施します。 ・がん検診(胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん)</p>			22,408	26,375	30,202
4	健幸まちづくり事業	①② ③④	<p>恵那市健幸のまちづくり行動計画に基づき市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことによって、健やかで幸せな生活を送ることができるよう、運動・スポーツ・食生活に関する事業を積極的に推進します。 ・健康フェスタinえな ・エーナ健康レクコンテスト ・エーナ料理教室</p>			6,592	5,447	6,379
5	保健推進事業	①② ③④	<p>生活習慣病を予防するため、特定健康診査等事業(特別会計事業)と連携しながら、若年層・節目年齢健診による保健指導の推進及び重症化予防のための訪問指導、健康相談、健康教育を実施します。 ・若年層健診(18-40歳) ・節目年齢健診(40-60歳の間に5年ごと)</p>			5,436	4,122	4,870
6	特定健康診査等事業	①② ③④	<p>生活習慣病を予防するため、保健推進事業(一般会計事業)と連携しながら、特定健診・すこやか健診による保健指導を推進します。 ・特定健診(40-74歳) ・すこやか健診(75歳(一定の障がいがあると認定された方は65歳)以上の方)</p>			41,647	40,426	42,815

③第1号被保険者(65歳以上)の介護認定率 (単位:%)	評価の内容			今後の方向性				
	<p>・「③第1号被保険者(65歳以上)の介護認定率」については、高齢化率進んでいる中、大きな増加はなく、介護予防に関する取り組みの効果が得られていると考えられる。</p>			<p>・介護予防の取組が継続的に必要である。【3-②再掲】 ・若い頃から生活習慣病予防の働きかけを行う。</p>				
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	山岡健康増進センター管理運営事業	①② ③④	<p>「健幸都市宣言」を推進するため、広く市民の利用を促すとともに、閉じこもりの防止や要介護状態になることを予防し、健康の維持・増進を図ります。 ・山岡健康増進センター指定管理</p>			24,299	21,926	19,690
2	歯科保健推進事業	②③④	<p>乳児期から高齢期まで、歯と口腔の健康を保ち健やかで豊かな生活が送れるように、ライフステージ別に、健診(1歳6ヶ月・2歳・3歳・成人期)、教室(乳幼児期)、巡回指導等を実施します。 ・歯みがき教室 ・こども園、幼稚園歯科衛生巡回指導 ・巡回歯科保健サービス</p>			4,191	4,151	3,873

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
3	がん検診事業	①② ③④	がん(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳)検診の推進。・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業に基づくがん検診(20歳(子宮がん)・40歳(乳がん)と節目年齢で過去未受診者による勧奨)・働く世代への女性支援のためのがん検診推進事業に基づくがん検診を実施します。 ・がん検診(胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん)	22,408	26,375	30,202
4	健幸まちづくり事業	①② ③④	恵那市健幸のまちづくり行動計画に基づき市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことによって、健やかで幸せな生活を送ることができるように、運動・スポーツ・食生活に関する事業を積極的に推進します。 ・健康フェスタinえな ・エーナ健康レシピコンテスト ・エーナ料理教室	6,592	5,447	6,379
5	保健推進事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、特定健康診査等事業(特別会計事業)と連携しながら、若年層・節目年齢健診による保健指導の推進及び重症化予防のための訪問指導、健康相談、健康教育を実施します。 ・若年層健診(18-40歳) ・節目年齢健診(40-60歳の間に5年ごと)	5,436	4,122	4,870
6	特定健康診査等事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、保健推進事業(一般会計事業)と連携しながら、特定健診・すこやか健診による保健指導を推進します。 ・特定健診(40-74歳) ・すこやか健診(75歳(一定の障がいがあると認定された方は65歳)以上の方)	41,647	40,426	42,815

		評価の内容		今後の方向性		
<b>④第2号被保険者(40歳～64歳)の介護認定率(単位:%)</b>		「④第2号被保険者(40歳～64歳)の介護認定率」については、生活習慣予防などの取り組みの効果が得られていると考えられる。		・健康づくりの取組が継続的に必要である。 ・若い頃から生活習慣病予防の働きかけを行う。【3-③再掲】		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	山岡健康増進センター管理運営事業	①② ③④	「健幸都市宣言」を推進するため、広く市民の利用を促すとともに、閉じこもりの防止や要介護状態になることを予防し、健康の維持・増進を図ります。 ・山岡健康増進センター維持管理	24,299	21,926	19,690
2	歯科保健推進事業	②③④	乳児期から高齢期まで、歯と口腔の健康を保ち健やかで豊かな生活が送れるように、ライフステージ別に、健診(1歳6ヶ月・2歳・3歳・成人期)、教室(乳幼児期)、巡回指導等を実施します。 ・歯みがき教室 ・こども園、幼稚園歯科衛生巡回指導 ・巡回歯科保健サービス	4,191	4,151	3,873
3	がん検診事業	①② ③④	がん(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳)検診の推進。・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業に基づくがん検診(20歳(子宮がん)・40歳(乳がん)と節目年齢で過去未受診者による勧奨)・働く世代への女性支援のためのがん検診推進事業に基づくがん検診を実施します。 ・がん検診(胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん)	22,408	26,375	30,202
4	健幸まちづくり事業	①② ③④	恵那市健幸のまちづくり行動計画に基づき市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことによって、健やかで幸せな生活を送ることができるように、運動・スポーツ・食生活に関する事業を積極的に推進します。 ・健康フェスタinえな ・エーナ健康レシピコンテスト ・エーナ料理教室	6,592	5,447	6,379
5	保健推進事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、特定健康診査等事業(特別会計事業)と連携しながら、若年層・節目年齢健診による保健指導の推進及び重症化予防のための訪問指導、健康相談、健康教育を実施します。 ・若年層健診(18-40歳) ・節目年齢健診(40-60歳の間に5年ごと)	5,436	4,122	4,870

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
6	特定健康診査等事業	①② ③④	生活習慣病を予防するため、保健推進事業(一般会計事業)と連携しながら、特定健診・すこやか健診による保健指導を推進します。 ・特定健診(40-74歳) ・すこやか健診(75歳(一定の障がいがあると認定された方は65歳)以上の方)	41,647	40,426	42,815

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	4 日々の暮らしを守る		
目指す方向	誰もができるだけ自立して暮らすことができ、社会の中でも役割を担い、いきいきと活動することができる、誰もが出番のある社会を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①日々の生活に不安を感じている市民(単位:%)	目標		57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	×
	結果	57.3	66.8	66.5	60.8	60.8		
②日常生活で困った時に相談先がある市民(単位:%)	目標		87.5	88.0	88.5	89.0	90.0	○
	結果	87.3	94.5	95.3	95.1	96.2		
③近所の人と話す機会がある高齢者(単位:%)	目標		72.0	73.0	74.0	75.0	76.0	×
	結果	71.6	61.4	65.2	67.2	64.5		
④障がいのある人への理解度(単位:%)	目標		86.8	87.0	87.5	88.0	88.5	×
	結果	86.6	78.6	76.2	78.0	78.9		
	目標							C
	結果							

①日々の生活に不安を感じている市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
		<p>「①日々の生活に不安を感じている市民」については、市営住宅入居者資格の緩和や、各種福祉支援事業も継続的に行われていることにより徐々に改善されている。</p> <p>・市民意識調査の「普段の生活で、将来不安に感じることはあるか」との設問に対し、日常生活・福祉・介護においては「高齢や障がい等による、経済的な不安(41.8%)」、「移動に対する不安(42.0%)」が高く、課題としてあげられる。</p> <p>・市単独事業として一般向けに「プレミアム付き商品券事業」を実施。併せて国の制度に基づく「低所得者・子育て世帯向けプレミアム付き商品券事業」を実施し、消費税の引上げに伴う低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起を行った。一時的な効果ではなく、継続的な効果を生む取り組みが重要となってくる。</p> <p>・「①日々の生活に不安を感じている市民」、「③近所の人と話す機会がある高齢者」については、高齢者のひきこもりや、日常生活への不安を解消させる等のフレイル対策として令和2年4月から地域包括支援センターの運営体制の充実させていくこととしている。</p>	<p>・高齢者や障がいのある方の家族が不安を感じている移動手段の確保などを検討していく。</p> <p>・さまざまな課題を抱えるすべての地域住民と要支援者に対し、身近な相談窓口として令和2年4月に社会福祉課に設置した「福祉総合相談窓口」を充実していく。</p> <p>・恵南地域包括支援センターと笠岡高齢者相談窓口を活用し、市内全域へ相談窓口の機能強化を図る。</p> <p>・認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるよう本人及び家族を支えるための施策を推進する。</p>			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 地域福祉推進事業	①④	<p>地域福祉を推進するため、社会福祉協議会の活動や、民生委員・児童委員活動等の支援を行い、地域福祉サービス向上に努めます。[H29「地域福祉計画」見直し]</p> <p>・民生委員・児童委員活動支援</p> <p>・こころの相談員の配置</p>	54,509	53,261	49,644	
2 障がい者地域生活支援事業	①④	<p>障がいのある人たちが、それぞれの能力や適正に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援、日常生活用具の給付、意思疎通支援、社会参加促進、移動支援、成年後見制度利用支援などを行います。また、市民の障がいへの理解を高め、障がい児・者が暮らしやすいまちを創出します。</p> <p>・相談支援事業(たんぼぼ作業所、恵那市社会福祉協議会)</p> <p>・日常生活用具給付事業</p> <p>・日中一時支援事業</p>	72,822	64,769	76,586	
3 高齢者活躍支援事業	①②③	<p>高齢者が健康で生きがいを持ち、社会で活躍できるよう支援を行います。</p> <p>・シルバー人材センター運営支援事業</p> <p>・壮健クラブ活動支援事業</p>	26,850	26,659	26,570	
4 高齢者等生活支援事業	①	<p>一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が安心した生活を送ることができるよう支援すると共に、高齢者の長寿を祝い市民に高齢者を敬愛する心を育成します。</p> <p>・成年後見制度利用支援事業</p> <p>・敬老事業</p> <p>・ふれあいまちづくり事業</p>	17,788	19,042	19,035	
5 認知症予防事業	①②③	<p>明智回想法センターの維持管理を行い、回想法を用いた脳の活性化等により、介護予防・認知症予防を図ります。</p> <p>・明智回想法センター指定管理</p>	4,440	4,029	3,889	

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
6	介護保険介護給付事業	①	介護・介護予防サービス費用の給付を行います。 ・居宅介護サービス給付 ・施設介護サービス給付 ・居宅介護サービス計画給付	5,110,553	5,241,134	5,303,224
7	高齢者地域支援事業	①②③	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が続けられるようにするため、地域全体で高齢者を支えとともに、高齢者自身も地域や社会活動に参加し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。 ・介護予防・日常生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・高齢者温泉施設利用助成事業	207,086	233,255	239,726
8	生活困窮者自立支援事業	①	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者の相談に応じ、関係機関と連携し、就労支援を実施します。 ・生活困窮者自立相談支援事業 ・住居確保給付金	22,427	22,789	28,796
9	市営住宅維持管理事業	①	住宅に困窮する低所得者のために住宅を供給し、適正かつ計画的な管理を行います。 ・市営住宅維持管理・環境整備 ・市営住宅解体工事	70,423	59,584	66,395
10	雇用促進駐車場管理事業(H29まで)	①	山岡雇用促進住宅に隣接する駐車場の管理を行います。	100	—	—
11	市営住宅整備事業(H28まで)	①	定住促進住宅設計業務を行います。	—	—	—
12	低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業(R1)	①	消費税・地方消費税の引上げが、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的にプレミアム付商品券を発行します。 ・低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業	—	—	26,431

②日常生活で困った時に相談先がある市民(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「②日常生活で困った時に相談先がある市民」について、市民意識調査の「あなたは日常生活に困った時、誰に相談しますか」との設問に対し、「市役所・振興事務所(9.7%)」や「民生委員(3.9%)」は数値が低く、市民から頼りにされる相談窓口が身近にないことが伺われる。			
				さまざまな課題を抱えるすべての地域住民と要支援者に対し、身近な相談窓口として令和2年4月に社会福祉課に設置した「福祉総合相談窓口」を充実していく。【4-①再掲】 ・惠南地域包括支援センターと笠岡高齢者相談窓口を活用し、市内全域へ相談窓口の機能強化を図る。 【4-①再掲】		
1	高齢者活躍支援事業	①②③	高齢者が健康で生きがいを持ち、社会で活躍できるよう支援を行います。 ・シルバー人材センター運営支援事業 ・壮健クラブ活動支援事業	26,850	26,659	26,570
2	認知症予防事業	①②③	明智回想法センターの維持管理を行い、回想法を用いた脳の活性化等により、介護予防・認知症予防を図ります。 ・明智回想法センター指定管理	4,440	4,029	3,889
3	高齢者地域支援事業	①②③	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が続けられるようにするため、地域全体で高齢者を支えとともに、高齢者自身も地域や社会活動に参加し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。 ・介護予防・日常生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・高齢者温泉施設利用助成事業	207,086	233,255	239,726

③近所の人と話す機会がある高齢者 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「①日々の生活に不安を感じている市民」、「③近所の人と話す機会がある高齢者」については、高齢者のひきこもりや、日常生活への不安を解消させる等のフレイル対策として令和2年4月から地域包括支援センターの運営体制の充実させていくこととしている。	・恵南地域包括支援センターと笠周高齢者相談窓口を活用し、市内全域へ相談窓口の機能強化を図る。【4-①再掲】		
1	高齢者活躍支援事業	①②③	高齢者が健康で生きがいをもち、社会で活躍できるよう支援を行います。 ・シルバー人材センター運営支援事業 ・壮健クラブ活動支援事業	26,850	26,659	26,570
2	認知症予防事業	①②③	明智回想法センターの維持管理を行い、回想法を用いた脳の活性化等により、介護予防・認知症予防を図ります。 ・明智回想法センター指定管理	4,440	4,029	3,889
3	高齢者地域支援事業	①②③	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が続けられるようにするため、地域全体で高齢者を支えるとともに、高齢者自身も地域や社会活動に参加し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。 ・介護予防・日常生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・高齢者温泉施設利用助成事業	207,086	233,255	239,726

④障がいのある人への理解度 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「④障がいのある人への理解度」について、市民意識調査の「あなたは、障がいの方が困っていたら、手助けできることができますか」の設問に対しては、「できる(17.6%)」・「多分できる(47.5%)」と合わせて65.1%の方が障がいのある方への理解を示しています。 ・障がい者理解教育推進校校として指定した小中学校にて、障がいへの理解を深めるため講演や、体験などを実施した。	・さまざまな課題を抱えるすべての地域住民と支援者に対して、身近な相談窓口をR2年度4月社会福祉課に設置した「総合相談窓口」を充実していく。【4-①再掲】 ・障がいへの理解を深めるため、障がい者理解教育推進校などの取組を継続的に実施していく。【4-①再掲】		
1	地域福祉推進事業	①④	地域福祉を推進するため、社会福祉協議会の活動や、民生委員・児童委員活動等の支援を行い、地域福祉サービス向上に努めます。[H29「地域福祉計画」見直し] ・民生委員・児童委員活動支援 ・こころの相談員の配置	54,509	53,261	49,644
2	障がい者地域生活支援事業	①④	障がいのある人たちが、それぞれの能力や適正に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援、日常生活用具の給付、意思疎通支援、社会参加促進、移動支援、成年後見制度利用支援などを行います。また、市民の障がいへの理解を高め、障がい児・者が暮らしやすいまちを創出します。 ・相談支援事業(たんぼぼ作業所、恵那市社会福祉協議会) ・日常生活用具給付事業 ・日中一時支援事業	72,822	64,769	76,586

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	5 医療と救急を充実する		
目指す方向	病院や診療所との連携など、地域の医療体制を充実するとともに、急病やけがなどから命を救うことができる救急体制の充実を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価	
①かかりつけ医のいる市民(単位:%)	目標		55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	○	B
	結果	54.1	59.8	60.1	59.0	62.2			
②医療環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	○	
	結果	55.0	61.1	60.1	61.2	61.9			
③患者医療機関収容時間(単位:分)	目標		41.5	41.0	40.5	40.0	39.5	×	
	結果	42.0	42.8	42.1	42.1	42.4			
④応急手当資格者数(実)(単位:人)	目標		3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	×	
	結果	2,900	3,041	2,928	2,933	3,132			
目標									
結果									

①かかりつけ医のいる市民(単位:%)	評価の内容			今後の方向性				
		<p>・「①かかりつけ医のいる市民」については、市民意識調査の自由意見欄に、「専門科が市内医療機関には少なく、他市の医療機関にかかる」などの意見も散見される。</p> <p>・市立恵那病院の医師、助産師等の募集条件に職員住宅の入居を組み入れるなど医療体制の充実を図っている。職員住宅の建設を予定するなど医師確保の取組は今後に期待される。</p> <p>・開業医のいない地域では、市で診療所を開設し医療の確保に努めている。</p>			<p>・かかりつけ医の普及を図るため役割などについて周知することが必要である。</p> <p>・医師、看護師の確保など、医療体制の充実が重要である。</p>			
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	診療所事業(一般会計負担分)	①②	地域医療を確保するために、国民健康保険診療所事業会計(三郷診療所・飯地診療所・岩村診療所・山岡診療所・串原診療所・上矢作歯科診療所)の経営の健全化を促進し、安定した医療サービスを提供する出資及び補助を行います。			196,387	166,722	176,676
2	地域医療確保対策事業	①②	地域医療の確保するために、休日・夜間における救急医療の体制整備及び救急医療機関の案内や1次救急医療機関(診療所等)・2次救急医療機関(病院)の運営に対し支援を行います。また、将来の医師・看護師の確保のため、奨学資金等の貸付事業を行います。			44,003	44,981	47,707
3	国保診療所医療機器等更新事業	①②	安全で安心、質の良い医療を提供するために、国保三郷診療所、国保飯地診療所、国保岩村診療所(恵那市透析センターを含む)、国保山岡診療所(歯科を含む)、国保串原診療所、国保上矢作歯科診療所における医療機器の計画的な更新を行います。			12,201	31,023	63,403
4	国保診療所施設整備更新事業	①②	安全で安心、質の良い医療を提供するために、国保三郷診療所、国保飯地診療所、国保岩村診療所(恵那市透析センターを含む)、国保山岡診療所(歯科を含む)、国保串原診療所、国保上矢作歯科診療所の医療施設の整備・更新を行います。			4,095	2,170	3,440
5	国保診療所運営事業	①②	地域医療の確保のために、国民健康保険診療所(三郷診療所・飯地診療所・岩村診療所・山岡診療所・串原診療所・上矢作歯科診療所)で適正な医療サービスの提供を実施することで、地域住民の健康保持および福祉の向上を図ります。			628,876	485,265	482,407

②医療環境に不満を感じていない市民 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
	<p>・「②医療環境に不満を感じていない市民」については、目標を達しているが、「交通の便が悪い」といった意見もあり、伸び悩んでいる。</p> <p>・市立恵那病院の医師、助産師等の募集条件に職員住宅の同居を組み入れるなど医療体制の充実を図っている。職員住宅の建設を予定するなど医師確保の取組は今後に期待される。 【5-①再掲】</p>		<p>・病院への交通手段を含め、市内全域の移動手段対策を講ずる必要がある。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	診療所事業 (一般会計負担分)	①② 地域医療を確保するために、国民健康保険診療所事業会計(三郷診療所・飯地診療所・岩村診療所・山岡診療所・串原診療所・上矢作歯科診療所)の経営の健全化を促進し、安定した医療サービスを提供する出資及び補助を行います。 ・診療所経営事業	196,387	166,722	176,676
2	病院事業 (一般会計負担分)	② 地域医療と救急体制を確保するために、病院事業会計(市立恵那病院・国民健康保険上矢作病院)の経営の健全化を促進し、安定した医療サービスを提供する、地方公営企業繰出金通知に基づき繰り出します。[恵那病院再整備事業に対する出資金等]	991,916	949,766	932,966
3	地域医療確保対策事業	①② 地域医療の確保するために、休日・夜間における救急医療の体制整備及び救急医療機関の案内や1次救急医療機関(診療所等)・2次救急医療機関(病院)の運営に対し支援を行います。また、将来の医師・看護師の確保のため、奨学資金等の貸付事業を行います。 ・奨学資金等貸付事業	44,003	44,981	47,707
4	救急活動事業	②③ 救急活動を安全、迅速、確実に遂行するため、救急活動消耗品の購入及び機械器具の保守点検を行うと共に、市民の救命率向上のため、救急隊員の教育及び各種研修会等への派遣を行い、救急隊員の知識、技術の向上を図ります。 ・救急救命士各種研修	6,547	5,866	5,760
5	救急施設整備事業	②③ 救急医療の高度化と市民の救命率向上のため、高度救命処置備品の整備、修繕、高規格救急自動車の更新。重篤患者をいち早く医療機関へ搬送するためヘリポートの整備を実施します。 ・高規格救急車購入 ・救急資機材整備	27,707	28,493	28,085
6	市立恵那病院医療機器等導入・更新事業	② 安全で安心、質の良い医療を提供するために、市立恵那病院における医療機器の計画的な更新を行います。 ・一般X線撮影装置等購入	49,550	47,009	46,440
7	国保上矢作病院医療機器等更新事業	② 安全で安心、質の良い医療を提供するために国民健康保険上矢作病院における医療機器の計画的な更新を行います。 ・デジタルX線画像診断システム等購入	45,985	30,459	63,428
8	病院施設整備更新事業	② 安全で安心、質の良い医療を提供するために市立恵那病院と国民健康保険上矢作病院の医療施設の整備・更新を行います。 ・市立恵那病院整備・更新 ・国民健康保険上矢作病院整備・更新	23,752	16,363	18,297
9	国保診療所医療機器等更新事業	①② 安全で安心、質の良い医療を提供するために、国保三郷診療所、国保飯地診療所、国保岩村診療所(恵那市透析センターを含む)、国保山岡診療所(歯科を含む)、国保串原診療所、国保上矢作歯科診療所における医療機器の計画的な更新を行います。 ・人工腎臓装置購入(岩村診療所) ・X線骨密度測定装置購入(岩村診療所)	12,201	31,023	63,403
10	国保診療所施設整備更新事業	①② 安全で安心、質の良い医療を提供するために国保三郷診療所、国保飯地診療所、国保岩村診療所(恵那市透析センターを含む)、国保山岡診療所(歯科を含む)、国保串原診療所、国保上矢作歯科診療所の医療施設の整備・更新を行います。	4,095	2,170	3,440



	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
11	市立恵那病院 運営事業	②	地域医療の中核である恵那病院で適正な医療サービスの提供を提供するため、指定管理者による安定して運営を行うよう指定管理料を交付します。 ・市立恵那病院指定管理	4,136,576	931,965	818,475
12	国保上矢作 病院運営事業	②	地域医療と救急の確保のため、国民健康保険上矢作病院で適正な医療サービスを実施します。 ・国民健康保険上矢作病院運営事業	935,649	953,390	950,253
13	国保診療所 運営事業	①②	地域医療の確保のために、国民健康保険診療所(三郷診療所・飯地診療所・岩村診療所・山岡診療所・串原診療所・上矢作歯科診療所)で適正な医療サービスの提供を実施することで、地域住民の健康保持および福祉の向上を図ります。 ・国民健康保険診療所(三郷診療所・飯地診療所・岩村診療所・山岡診療所・串原診療所・上矢作歯科診療所)運営事業	628,876	485,265	482,407
14	市立恵那病院 残施設利活用 事業(H28まで)	②	市立恵那病院建設に伴い旧病院施設の一部を通所リハビリ施設、訪問看護ステーション、院内保育所(病児病後児保育を併設)として再整備を行います。平成28年度より通所リハビリ施設、院内保育所(病児病後児保育を併設)及び訪問看護ステーションの移転改修設計及び整備を行います。	—	—	—
15	市立恵那病院 再整備事業 (H29まで)	②	市民の医療環境を支える病院として平成28年11月中の開院を目指し整備を進め、平成29年度末までに旧病院施設の一部を解体し、造成及び外構工事の完了を目指します。	259,540	—	—
16	消防署所適正 配置検討事業	②③	恵那市の救急体制について市民を含んだ検討会を立ち上げ、救急体制のあり方を検討します。[H30 救急分遣所整備事業]	0	34,986	0

			評価の内容	今後の方向性		
<b>③患者医療機関収容 時間 (単位:分)</b>			「③患者医療機関収容時間」が昨年度より増加しているが、要因としては、近くの救急車が出動中であつたり、県外への転院搬送、救命士による処置や観察など高度な処置によるためであつた。	現在の取組を継続すること。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	救急活動事業	②③	救急活動を安全、迅速、確実に遂行するため、救急活動消耗品の購入及び機械器具の保守点検を行うと共に、市民の救命率向上のため、救急隊員の教育及び各種研修会等への派遣を行い、救急隊員の知識、技術の向上を図ります。 ・救急救命士各種研修	6,547	5,866	5,760
2	救急施設整備 事業	②③	救急医療の高度化と市民の救命率の向上のため、高度救命処置備品の整備、修繕、高規格救急自動車の更新。重篤患者をいち早く医療機関へ搬送するためヘリポートの整備を実施します。 ・高規格救急車購入 ・救急資機材整備	27,707	28,493	28,085
3	消防署所適正 配置検討事業	②③	恵那市の救急体制について市民を含んだ検討会を立ち上げ、救急体制のあり方を検討します。[H30 救急分遣所整備事業]	0	34,986	0

④応急手当資格者数 (実)(単位:人)		評価の内容		今後の方向性		
		・「④応急手当資格者数」については、受講時間の短いチャレンジコース(1.5時間)が増加傾向にある。		・資格取得である3時間以上の講習を進めているが受講者の実績は伸び悩んでおり、更なる取組が必要である。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	応急手当普及啓発事業	④	その場に居合わせた人が必要な応急処置が行える知識と技術を身につけるため、地域住民・事業所等の各団体に応急手当普及啓発を行い、有資格者を育成し、公共施設のAEDが緊急時に必ず使用できる状態にしておくことが安心して暮らせる街づくりをつくるため実施します。 ・AED設置事業 ・応急手当講習	1,219	1,183	935

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	6 犯罪や事故を防ぐ		
目指す方向	防犯・交通安全意識を高め、関係機関と地域が一体となって、防犯・交通安全環境の充実を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①人身交通事故発生件数(単位:件)	目標	150	145	140	135	130	○	B
	結果	157	135	112	112	72		
②治安が悪いと感じている市民(単位:%)	目標	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	×	
	結果	16.1	18.2	18.9	17.2	17.1		
③犯罪率(人口1,000人当たりの刑法犯認知件数)(単位:件/千人)	目標	6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	○	
	結果	6.8	4.4	3.9	4.4	3.7		
目標								
結果								
目標								
結果								

①人身交通事故発生件数(単位:件)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	交通安全まちづくり事業	①	市民と一体となって交通事故防止・交通安全思想の普及徹底を図るため、交通指導員による交通安全教室の開催、交通安全指導や交通安全対策協議会・交通安全協会の活動助成を実施します。 ・交通指導員による、交通安全教室 ・交通安全期間中「市民総ぐるみ街頭指導	5,359	4,813	4,463
2	交通安全対策施設整備事業	①	交通安全意識を高め、交通環境の充実を目指すため、交通安全施設の整備を市内全域を対象に実施します。 ・カーブミラー、防護柵、標識、区画線の設置 ・カーブミラー、標識、反射鏡等の修繕、取り換え	11,906	10,083	11,122

②治安が悪いと感じている市民(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	防犯まちづくり事業	②③	市民の安全を確保し防犯活動の円滑化、能率化を図るため、防犯カメラの設置事業や地域防犯組織の相互連携強化と活動支援及び恵那防犯組合連合会活動助成など、安全・安心なまちづくりを推進します。 ・地域防犯活動の推進 ・防犯カメラ設置事業	3,078	2,637	2,489

③犯罪率(人口1,000人当たりの刑法犯認知件数) (単位:件/千人)		評価の内容		今後の方向性		
		・「③犯罪率(人口1,000人当たりの刑法犯認知件数)」については、犯罪の発生を少しでも減らし、住みよいまちづくりをしていくために、各関係機関と連携して防犯パトロールなどの活動を行った結果が評価に繋がっていると推測される。		・防犯意識を高めるとともに、犯罪を減少させていく取組が必要である。 ・地域や市職員による青色回転パトロールを継続して実施する。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	防犯まちづくり事業	②③	市民の安全を確保し防犯活動の円滑化、能率化を図るため、防犯カメラの設置事業や地域防犯組織の相互連携強化と活動支援及び恵那防犯組合連合会活動助成など、安全・安心なまちづくりを推進します。 ・地域防犯活動の推進 ・防犯カメラ設置事業	3,078	2,637	2,489

# 施策評価シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	7 災害から身を守る		
目指す方向	地震や風水害、土砂災害、火災などのさまざまな災害から命を守り、できるだけ被害を少なくするように地域や家庭における備えを充実します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①地区防災計画の取組(単位:-)	目標	地域自治区単位での実践率80%	地域自治区単位での実践率100%	地域の区単位での計画策定	地域の区単位での実践率80%	地域の区単位での実践率100%	○	B
	結果	地域自治区単位での計画策定	地域自治区単位での実践率100%	地域自治区単位での実践率100%	地域自治区単位での実践率100%	地域自治区単位での実践率100%		
②緊急避難場所を知っている市民(単位:%)	目標	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	○	
	結果	77.7	83.1	79.0	83.7	84.1		
③防災に対するの備えに不安がある市民(単位:%)	目標	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0	×	
	結果	50.0	62.7	58.0	57.9	53.9		
目標								
結果								

		評価の内容		今後の方向性		
①地区防災計画の取組(単位:-)		・「①地区防災計画の取組」については、地域自治区において計画を策定し、実践している結果である。		・地区防災計画の取組は、引き続き実践していく。 ・災害時要配慮者の名簿の作成とともに個別避難計画の作成等、災害弱者を地域で把握し避難行動につなげる取組を展開する。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	地域防災力向上事業	①②③	地区防災計画推進のため、地域防災組織の育成・活動補助を行うための地域防災力向上補助金事業を実施します。 ・防災アカデミー運営委託 ・地域防災資機材の充実	7,085	4,809	5,080

		評価の内容		今後の方向性		
②緊急避難場所を知っている市民(単位:%)		・「②緊急避難場所を知っている市民」については、目標指標を達成している。 ・毎年実施している防災訓練や、地域防災力の向上を目標とした防災アカデミーを開催し、防災知識の普及啓発等を行っていることが成果に繋がっている。		・避難経路や、備蓄品の確認を定期的に行い自主防災への意識を高める取組がさらに必要である。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭にいた避難所の運営訓練等、自主防災組織の活動強化を促進する。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	地域防災力向上事業	①②③	地区防災計画推進のため、地域防災組織の育成・活動補助を行うための地域防災力向上補助金事業を実施します。 ・防災アカデミー運営委託 ・地域防災資機材の充実	7,085	4,809	5,080

		評価の内容		今後の方向性		
③防災に対するの備えに不安がある市民(単位:%)		・「③防災に対するの備えに不安がある市民」については、平成29年度から改善されていない。市民意識調査の自由意見の中では近年多発している大規模災害等に対する不安が散見される。地区別では串原、上矢作、笠置、中野方、飯地の順で不安がある市民の割合が高くなっており、高齢化率が高くなっていくこれらの地区を中心に防災関連事業を実施する必要がある。 ・毎年実施している防災訓練では、市内の全ての小・中学校の児童・生徒が訓練に参加し、防災・減災意識の高揚及び地域防災の担い手となった。		・避難経路や、備蓄品の確認を定期的に行い、自主防災への意識を高める取組がさらに必要である。 ・災害時要配慮者の名簿の作成とともに個別避難計画の作成等、災害弱者を地域で把握し避難行動につなげる取組を展開する。 ・防災訓練の参加率の向上とともに、企画内容は学校運営協議会(コミュニティスクール)等を通じて、避難所開設運営訓練を中学生と地域が一体となって運営する等年々高度化している。今後も、学校を基軸として、担い手(生徒)を育成し、地域や保護者の防災意識の向上に繋げる。 ・住民生活総合支援アプリの開発(令和2年度事業)の中で、避難情報が市民に自動配信等がされるよう検討する。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	地域防災力向上事業	①②③	地区防災計画推進のため、地域防災組織の育成・活動補助を行うための地域防災力向上補助金事業を実施します。 ・防災アカデミー運営委託 ・地域防災資機材の充実	7,085	4,809	5,080

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
2	防災推進事業	③	防災体制・災害時対応能力の充実を図るため、防災行政無線移動系デジタル化、雨量計設置工事を実施します。 ・ブロック塀等撤去補助 ・防災行政無線設備整備 ・安心・安全メールシステム	26,815	34,171	105,076
3	建築物耐震促進事業	③	市内にある建築物の耐震化。 ・木造住宅の無料耐震診断事業 ・建築物耐震診断費補助事業 ・木造住宅耐震補強工事費補助事業等	10,669	7,032	6,428
4	空家解消対策事業	③	平成27年度に実施した空家の調査に基づいて、市内700件程の空家の状況実態把握を行い、防災、衛生、景観等、生活環境の保全のための対策、特定空家の解消を行います。 ・特定空家等審査会設置等 ・特定空家解体 ・空家除却費補助	104	82	4,475
5	防火まちづくり推進事業	③	安全なまちづくり構築のため、幼少年消防隊、女性防火クラブ及び住民への火災予防普及啓発活動に対する指導及び支援を実施します。 ・少年消防隊活動 ・女性防火クラブ活動 ・火災予防啓発	1,975	1,867	2,155
6	非常備消防一般運営事業	③	地域防災力の充実強化及び消防団員の確保のため、消防団に対する報酬、手当等の処遇改善、消防団の装備品の整備等を行い、魅力ある消防団にすることで恵那市に定着して住み続け、地域の活性化になるよう検討・実施します。 ・消防団活動(操法訓練、防災訓練参加、出初式等) ・県消防操法大会出場交付金	111,355	112,975	101,156
7	非常備消防管理事業	③	市民の生命・財産を各種災害から守るため、地域防災力(消防団活動)が最大限に発揮できる体制を継続実施します。 ・消防団拠点施設及び、消防車両の維持管理	12,064	11,222	9,723
8	非常備消防施設整備事業	③	「災害に強いまち」を構築するため、消防団の機動力の充実強化と出動体制の万全を図るため、市民と消防団が理想とする出動体制を検討・実施します。 ・消防団施設の集約化 ・地域消防力の充実、強化 ・明智分団大田器具庫改修工事	30,626	40,913	46,129
9	消防水利整備事業	③	「災害に強いまち」を構築するため、自主防災隊等による初期消火活動が必要であり、現在設置してある消火栓に消火栓用放水器具の整備、消防水利の不足している地域に防火水槽、消火栓の設置を実施します。 ・防火水槽修繕 ・消火栓水器具整備 ・消火栓水利権維持管理	7,385	6,759	7,289
10	常備消防施設整備事業	③	市民に安心安全を担保するため、3署1分署の施設、設備の安全対策と災害発生時に即応可能な車両・機械器具の整備を実施します。 ・施設・設備等維持管理 ・酸素呼吸器購入等 ・恵那消防署空調設置工事	65,159	14,242	12,094
11	急傾斜地崩壊対策事業	③	斜面の崩壊や落石から、要配慮者施設・避難所・民家などの施設を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施します。 ・急傾斜地崩壊防止対策工事(武並町竹折中切地区)	1,938	31,582	29,796

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	8 自然を守り、活かす		
目指す方向	豊かな自然との調和を目指し、山林や里山、河川などの自然環境を長期的な視野で保全するとともに、皆が親しめる場としての活用を図ります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
① 恵那市の自然に愛着を持っている市民(単位:%)	目標		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	D
	結果	67.6	70.1	55.4	51.3	50.9	×	
② 景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標		0	1	1	2	2	
	結果	0	0	0	0	0	×	
③ 自然環境を保全し、活用する団体数(単位:組織数)	目標		11	12	12	13	13	
	結果	11	11	11	11	11	×	
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

① 恵那市の自然に愛着を持っている市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「①恵那市の自然に愛着を持っている市民」については、市民意識調査の中で「問4 あなたは、今の恵那市の現状を、どのように感じていますか?」の「⑥自然環境」に関する設問結果は毎年悪化しており、「良い・やや良い」と回答された割合が49.6%と昨年よりさらに下回った。また、自由意見の中で自然が活かされていない、耕作放棄地増加に伴い荒れていること等に関する意見がある。</p> <p>・山林の多面的機能を発揮させるため、ボランティア団体による森林整備が行われているが、木材単価の低迷や自然再生エネルギーの普及により山林に太陽光発電施設が設置される傾向がある。</p>	<p>・恵那市の自然環境を最大限に活かす事業や、わかりやすく啓発を行うことで、市民に関心を持ってもらうと共に、首都圏などからの交流を推進し人口拡大につなげるよう検討する必要がある。</p> <p>・関係機関等と連携した農業研修等による新たな農業の担い手発掘・育成につながる施策を検討する必要がある。</p> <p>・森林環境譲与税における新たな森林管理制度により手入の行き届いていない森林整備を計画的に行い、森林や農地が持つ多面的な機能を発揮させる整備を計画的に進める。</p>		

事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 森林保全促進事業	①②③	<p>森林の有する多面的機能の維持や災害防止のため、森林整備を実施します。また、森林の大切さを理解してもらうため、各種イベントでの間伐の必要性や木材利用のPRを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木エコンテスト</li> <li>・市有林間伐</li> <li>・皆伐造成林</li> <li>・明智城跡整備</li> <li>・担い手育成事業</li> </ul>	78,277	86,209	99,719

② 景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「②景観形成重点地区の指定数」について、地域において地域別景観計画が策定されていないため0箇所のままである。</p>	<p>・歴史的町並みや美しい田園景観、豊かな自然景観が多く残されているなか、地域の景観を活かし取り組んでいく。</p>		

事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 森林保全促進事業	①②③	<p>森林の有する多面的機能の維持や災害防止のため、森林整備を実施します。また、森林の大切さを理解してもらうため、各種イベントでの間伐の必要性や木材利用のPRを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木エコンテスト</li> <li>・市有林間伐</li> <li>・皆伐造成林</li> <li>・明智城跡整備</li> <li>・担い手育成事業</li> </ul>	78,277	86,209	99,719

③自然環境を保全し、活用する団体数 (単位:組織数)		評価の内容		今後の方向性		
		・「③自然環境を保全し、活用する団体数」については、団体数は横ばいのままである。		・環境保全活動状況などのPRを実施し、団体数の増加に努める		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	森林保全促進事業	①②③	<p>森林の有する多面的機能の維持や災害防止のため、森林整備を実施します。また、森林の大切さを理解してもらうため、各種イベントでの間伐の必要性や木材利用のPRを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工コンテスト</li> <li>・市有林間伐</li> <li>・皆伐造成林</li> <li>・明智城跡整備</li> <li>・担い手育成事業</li> </ul>	78,277	86,209	99,719



# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	9 魅力あるまち並みを創る		
目指す方向	魅力を活かしたまち並み(景観)形成を進めるとともに、快適に暮らすことができる計画的な土地利用を進めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①恵那市のまち並み景観が良いと感じている市民(単位:%)	目標	33.0	34.0	36.0	38.0	40.0	×	C
	結果	32.4	31.4	24.7	25.2	25.5		
②景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標	0	1	1	2	2	×	
	結果	0	0	0	0	0		
③計画的土地利用整備済み箇所数(単位:箇所)	目標	4	4	4	4	5	○	
	結果	4	4	4	4	4		
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①恵那市のまち並み景観が良いと感じている市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	・「①恵那市のまち並み景観が良いと感じている市民」については、市民意識調査の自由意見の中で、まち並み景観に関して、「空き家が多く寂しい」、「活気が無い」、といった意見もある。		・中山道や岩村のまち並みなどの空き家解消に努め景観を活かした取り組みも必要である。 ・今後リニア開通に向けリニアまちづくり基盤整備計画を推し進める必要がある。			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 景観形成事業	①②	地域の良好な景観と、文化的で豊かな暮らしが感じられるまち並みを形成するため、景観重要建造物・景観重要樹木の指定、景観形成重点地区の指定など、景観まちづくりの展開を検討・実施します。 ・屋外広告物に関する委託	6,018	5	253	
2 武並駅周辺整備計画策定事業	①③	国道19号瑞浪恵那道路の整備に関連して、駅周辺という利便性の高い地域の魅力を向上するため、市の西の玄関口として周辺の駐車場計画、住みやすい住環境づくりを検討します。 【9-③-2都市計画推進事業・9-③-6住宅施策推進事業の中で実施】	0	0	0	
3 憩いの空間維持・整備事業	①③	都市公園・駅前広場等の、清掃・施設修繕等を行います。 ・都市公園の管理委託 ・防犯カメラ設置 ・公園維持管理	21,048	22,431	21,231	
4 住宅施策推進事業(H30～)	①③	定住しやすい住居環境の充実を図るため、住宅施策に取り組みます。 ・土地利用調査業務委託	—	7,477	2,979	
5 リニアまちづくり事業	①③	リニア中央新幹線を生かした地域活性化を目的とし、魅力ある恵那市にするため、東濃東部都市間連絡道路整備、リニア沿線地域基盤整備、リニア関連市街地道路整備を検討・実施します。 【22-①-1リニアまちづくり事業 再掲】 ・リニアまちづくり基盤整備計画策定補助業務委託	3,733	6,687	12,069	

②景観形成重点地区の 指定数 (単位:箇所)		評価の内容		今後の方向性		
		・「②景観形成重点地区の指定数」について、地域において地域別景観計画が策定されていないため0箇所のままである。 【8-②再掲】		・歴史的町並みや美しい田園景観、豊かな自然景観が多く残されているなか、地域の景観を活かし取り組んでいく。【8-②再掲】		
事業名	目標指標	事業内容		H29決算	H30決算	R1決算
1	景観形成事業	①②	地域の良好な景観と、文化的で豊かな暮らしが感じられるまち並みを形成するため、景観重要建造物・景観重要樹木の指定、景観形成重点地区の指定など、景観まちづくりの展開を検討・実施します。 ・屋外広告物に関する委託	6,018	5	253

③計画的土地利用整備済み箇所数 (単位:箇所)		評価の内容		今後の方向性		
		・「③計画的土地利用整備済み箇所数」について、正家第一区画整理事業、大崎土地区画整理事業、御所の前牧田線、恵那駅前広場の事業は終わっている。 正家第二土地区画整理事業は、住宅用地(64区画)、複合商業施設(17店舗)などの用地整備を行い、市民意識調査の自由意見欄に多かった公園整備について、「中曽根公園」「道垣外公園」を整備し、今後の利用に期待される。		・正家第二土地区画整理事業も終り、新たな土地利用を検討していく必要がある。 ・リニアまちづくり基盤整備計画の推進に努める。		
事業名	目標指標	事業内容		H29決算	H30決算	R1決算
1	地籍調査事業	③	一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積の測量を行い、地籍図や地籍簿を作成します。 ・調査実施地区は、新規2地区、継続10地区のうち調査完了5地区の調査を実施。 ・業務運営管理	100,010	121,844	138,763
2	都市計画推進事業	③	都市計画マスタープランの見直しと、それに伴う立地適正化計画の調査を行います。 ・恵那市都市計画マスタープラン改訂業務委託 ・恵那駅シェルター設置等工事	2,543	18,791	22,081
3	土地区画整理事業	③	快適に暮らせる住環境と、商業施設などの充実による魅力的なまち並みを整備するため、正家第二土地区画整理事業を実施します。 ・正家第二土地区画整理区域内公園整備工事	52,951	194,795	21,231
4	武並駅周辺整備計画策定事業	①③	国道19号瑞浪恵那道路の整備に関連して、駅周辺という利便性の高い地域の魅力を向上するため、市の西の玄関口として周辺の駐車場計画、住みやすい住環境づくりを検討します。 【9-③-2都市計画推進事業・9-③-6住宅施策推進事業の中で実施】	0	0	0
5	憩いの空間維持・整備事業	①③	都市公園・駅前広場等の、清掃・施設修繕等を行います。 ・都市公園の管理委託 ・防犯カメラ設置 ・公園維持管理	21,048	22,431	21,231
6	住宅施策推進事業(H30～)	①③	定住しやすい住環境の充実を図るため、住宅施策に取り組みます。 ・土地利用調査業務委託 ・恵那市開発支援検討会	—	7,477	2,979
7	リニアまちづくり事業	①③	リニア中央新幹線を生かした地域活性化を目的とし、魅力ある恵那市にするため、東濃東部都市間連絡道路整備、リニア沿線地域基盤整備、リニア関連市街地道路整備を検討・実施します。 【22-①-1リニアまちづくり事業 再掲】 ・リニアまちづくり基盤整備計画策定補助業務委託	3,733	6,687	12,069

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	10 歴史・文化を活かす		
目指す方向	文化財、伝統芸能、祭りなどの歴史・文化を保全・継承しつつ、まちづくりに活かし、地域への誇りと愛着を醸成します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①居住地域の文化や風習を、生活の中で感じている市民(単位:%)	目標		65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	×
	結果	62.2	67.1	65.2	70.3	66.4		
②地域の祭りなどに参加した市民(単位:%)	目標		68.0	70.0	70.0	70.0	70.0	×
	結果	66.3	68.6	67.6	66.8	66.2		
	目標							D
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①居住地域の文化や風習を、生活の中で感じている市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
	「①居住地域の文化や風習を、生活の中で感じている市民」については、普段の生活で地域の文化・風習を『よく感じる・たまに感じる』と答えた方が7割弱であった。 ・明治天皇大井行在所整備事業では、「歴史的建造物の保存・継承・活用」、「観光交流の場」、「地域交流の場」として活用を図るよう事業を進めている。		・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送効果を活かし、地域の歴史文化を全国に発信していく。 ・歴史・文化施設等の環境整備などを進めていく必要がある。 ・文化財や伝統行事などを広く周知し、市民の関心を高める働きかけが必要である。		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 歴史まちづくり事業	①	地域の歴史資源の保全や、歴史や文化を活かした地域まちづくりを図るため、歴史的風致維持向上計画の推進によるまちづくり整備を実施します。	19,272	21,518	0
2 伝統芸能保存伝承事業	①②	伝統文化を保存継承し、郷土愛を育むために、市内各地に伝わる歌舞伎、獅子芝居、人形浄瑠璃、太鼓、囃子、舞などの伝統芸能を発表する大会を開催し、伝統芸能に携わる者の裾野拡大を図るとともに、後継者の育成や普及啓発活動を支援します。 ・いわむら城址薪能実行委員会活動事業 ・恵那市伝統芸能大会事業 ・文化振興会伝統芸能保存文化育成事業	6,996	7,050	7,894
3 文化財の調査・保存・活用事業	①	地域の歴史的、文化的資源である文化財を適切に保存・整備し、その活用を図るため、文化財保護審議会の開催、指定文化財の適切な維持管理の指導と保存修理に対する支援、市有文化財の維持管理と保存修理、愛護標柱・説明板の計画的な整備、開発事業に伴う埋蔵文化財の取り扱い調整および保護対策、遺跡詳細分布調査等を実施します。 ・岩村町字城山地内の立木の伐採事業 ・正家庵寺跡の旧資源センターの撤去 ・明治天皇行在所の工事	60,764	182,482	118,118
4 美術館管理運営事業	①	世界に誇ることができる歌川広重を中心とした浮世絵コレクションを活用し、市民の歴史文化への関心や芸術文化に対する意識の向上を図るとともに、市街地の活性化と交流人口の増加に資するため、公益財団法人中山道広重美術館を支援し、年間を通じて、所蔵品を中心にさまざまな企画展示、講座やワークショップ等の事業を実施します。また、ホームページやSNS等を活用して、国内のみならず世界に恵那市や浮世絵、版画の魅力を発信していきます。 ・浮世絵を中心とした特別企画展、企画展の実施 ・講座や、こども版画コンクールなどの教育普及事業	52,038	53,715	54,709

②地域の祭りなどに参加した市民 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	・「②地域の祭りなどに参加した市民」については、市民意識調査の「問1⑮地域の祭りなどに参加した市民」では、人口減少、高齢化等に伴い参加した方は減少傾向となっていると思われる。		・地域のまちづくり組織や小中学校等と連携を図るなど、祭礼行事へ参加する機会を増やすことで多くの人に関心を持っていたけような取り組みについて検討する必要がある。			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	伝統芸能保存 伝承事業	①②	<p>伝統文化を保存継承し、郷土愛を育むために、市内各地に伝わる歌舞伎、獅子芝居、人形浄瑠璃、太鼓、囃子、舞などの伝統芸能を発表する大会を開催し、伝統芸能に携わる者の裾野拡大を図るとともに、後継者の育成や普及啓発活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわむら城址新能実行委員会活動事業</li> <li>・恵那市伝統芸能大会事業</li> <li>・文化振興会伝統芸能保存文化育成事業</li> </ul>	6,996	7,050	7,894

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	11 戦略的に道路をつくる		
目指す方向	リニア中央新幹線を活かした道路、経済基盤や観光機能を強化する道路、住宅整備のための道路など、明確な目的を持ち、戦略的に道路整備を進めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①道路整備計画(仮)の進捗状況 (単位:-)	目標	策定	→	→	→	→	-	B
	結果	策定	別途進行管理	→	→			
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①道路整備計画(仮)の進捗状況 (単位:-)	評価の内容			今後の方向性		
	・「①道路整備計画(仮)の進捗状況」については、令和元年度は恵那西工業団地進入道路や正家第二土地区画整理地内の寺平的ヶ屋敷2号線などの整備を行い、全体として約2kmの道路整備を行った。この結果令和元年度末時点で道整備交付金で整備延長ペース52.5%の進捗となっている。また主要市道整備全体としては64.1%の進捗となっている。			・リニア中央新幹線の関連事業や瑞浪恵那道路関連市道整備が追加となるため、現在進めている事業の着実な進捗と早期完了に努める必要がある。		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 国県道事業等負担金負担事業	①	未改良区間の国県道など早期整備を促進するため、岐阜県が実施する建設事業に要する経費の一部を負担します。 ・国 道 418号、363号 ・主要地方道 豊田明智線 ・一般県道 恵那八百津線、中野方七宗線他 ・急傾斜 明智町吉良見、山岡町下手向	23,493	22,973	17,957	
2 主要市道整備事業	①	リニア中央新幹線を活かした道路、経済基盤や観光機能を強化する道路などの道路整備を進めるため、リニアまちづくり基盤整備計画を踏まえて、主要となる道路の整備を検討・実施します。 ・長島町255号線(恵那西工業団地の進入路) ・飯地中野方線、寺田石山線(笠周地域振興計画) ・大竹松本線、上矢作町13号(過疎自立支援計画)	86,256	283,765	283,906	

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	12 移動手段を充実する		
目指す方向	公共交通をはじめとする各種移動手段について、総合的な利便性の向上を図ります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①地域内有償運送がカバーしている地域(単位:地域)	目標		1	2	5	5	5	D
	結果	0	1	1	2	2	×	
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①地域内有償運送がカバーしている地域(単位:地域)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「①地域内有償運送がカバーしている地域」については、地域公共交通を持続可能とするため、飯地地区ではH28年度から「いいじ里山バス」串原地区では30年度「くしばす」、山岡町、岩村町ではH30年度から「よやくる号」が運行されており、移動手段の確保に努めたが、市民意識調査の自由意見の中で、「問6 あなたは、恵那市での今の生活を、どのように感じていますか?」の設問では、「③日用品以外の買い物」「④市内の移動手段(公共交通・移送サービスなど)」「⑤市外への移動手段(JRなど)」について、いずれも「不満・やや不満」が5割を超えており、「バスの本数が少ない」や、免許書を返納した後のことを心配するといった意見があるため、目標指標の達成には至らなかった。</p>	<p>・地域の公共交通全般で非常に多くの課題があり、福祉、観光、通勤、通学等も含めて市整体的を見て対応策を講じる必要がある。 ・他の2地域が主体となり検討や、実証実験などを進めており、ニーズに合わせた取組を拡充していく。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 基幹交通対策事業	①	<p>鉄道やバスなど総合的な公共交通ネットワークを維持しつつ、将来にわたって持続可能な公共交通の構築を図り、単なる移動手段としてではなく、次の世代に今より良い形で「つなぐ」ことを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明知鉄道の経営や施設修繕等への支援</li> <li>・JR武並駅の乗車券類簡易販売委託</li> <li>・自主運行バス運行受託運行事業</li> </ul>	261,818	257,409	227,757
2 地域交通網対策事業	①	<p>地域の公共交通を持続可能なものとするため、過疎地域などバスやタクシー等が対応できないようなエリアを公共交通空白地域とし、そのエリアで地域移送サービスの有償化が実現できるよう地域住民との連携強化を図ります。[地域検討会の運営支援、地域移送サービスの有償化・持続発展に向けた支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域有償運送事業補助(いいじ里山バス、くしばす)</li> <li>・地域有償運送運転者養成事業補助</li> </ul>	7,169	4,060	5,074
3 遠距離通学等対策事業	①	<p>通学をしている児童・生徒が安心・安全に通学するため、遠距離通学対策及び高齢化しているスクールバスの更新を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス購入(3台)</li> <li>・スクールバス運転業務</li> </ul>	106,864	78,305	82,318

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	13 便利な消費生活を送る		
目指す方向	生活必需品の購入が困難になりつつある地域においても買い物ができるようにするなど、誰もが便利な消費生活を送れるようにします。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価	
①日用品の買い物に不便を感じた市民(単位:%)	目標		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	○	B
	結果	13.5	9.0	11.3	9.2	8.1			
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								

①日用品の買い物に不便を感じた市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性				
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
	買い物支援事業	①	・「①日用品の買い物に不便を感じた市民」については、近年ドラッグストアや、スーパーマーケット等の店舗が市内に多く進出したり、ウェブサイトでの商品購入などが出来ることにより、市民意識調査での、日用品の買い物に不便を感じた市民の割合は前年よりも-1.1%減っていると考えられる。 ・串原地域及び上矢作地域では、買い物支援事業「くるくるまめしよっぷ」をH25年度から実施しているが、利用状況は、平成28年度 4,084人、平成29年度 3,480人、平成30年度 2,701人、令和元年度2168人と年々減少し、岩村地域では、H30年度から(株)旨味屋クラブが(株)パローホールディングスと業務提携を結び移動販売事業を展開しているが利用状況は、減少しているため課題も残る。	・地域内での消費生活環境を整えるなど、持続可能で不便の無い暮らしづくりを目指す取組の必要がある。	1,837	1,806	1,793

# 施策評価シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	14 暮らしやすさを保つ		
目指す方向	市民生活を支える生活道路や上下水道、ごみ処理、通信基盤などの暮らしの基盤を保ちます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①上下水道サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	×	B
	結果	83.3	80.8	79.4	79.4	80.9		
②生活道路に不満を感じていない市民(単位:%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	×	
	結果	78.5	71.9	71.2	71.2	73.7		
③通信環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	○	
	結果	79.8	82.6	82.5	81.7	81.5		
④ごみ収集サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	○	
	結果	90.9	92.6	88.9	91.0	92.5		
目標								
結果								

①上下水道サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
	1	浄化槽設置促進事業	① 下水道・農業集落排水事業区域外の水洗化による生活環境の改善並びに公共用水域の水質向上を図るため、合併浄化槽の普及推進と、浄化槽設置促進事業を実施します。 ・浄化槽設置補助事業	51,713	54,121	37,825
	2	河川整備事業	① 暮らしを支える生活基盤を維持するため、排水路整備・河川整備等を行います。 ・普通河川北山河川改修工事他	6,723	96,516	102,036
	3	下水道事業(一般会計負担分)	① 必要に応じて、下水道事業特別会計に繰り出しを行います。	617,400	620,300	596,660
	4	公共奥戸処理区建設事業	① 公共奥戸処理区の老朽化施設の更新を進めます。[恵那市浄化センター水処理施設更新及び耐震化工事] ・マンホールトイレ設計委託 ・施設維持管理	147,114	307,512	65,904
	5	特環竹折処理区建設事業	① 特環竹折処理区の維持を図ります。 ・処理場の水処理設備設計委託 ・施設維持管理	3,592	0	8,360
	6	特環岩村処理区建設事業	① 特環岩村処理区の老朽化施設の更新を進めます。[岩村浄化センター水処理施設更新及び耐震化工事] ・施設維持管理	168,895	62,779	14,723



	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
7	特環明智処理区建設事業	①	特環明智処理区の老朽化施設の更新を進めます。[H30明智浄化センター脱水機更新]	7,713	58,320	0
8	特環上矢作処理区建設事業	①	特環上矢作処理区の維持を図ります。 ・施設維持管理	14,914	2,765	2,871
9	特環恵那峡処理区建設事業	①	特環恵那峡処理区の施設整備を進めます。[アクアパーク恵那峡水処理施設工事] ・施設維持管理	3,253	7,528	25,112
10	水道施設更新事業	①	水道施設の更新を進めます。[水道施設の更新及び耐震化工事] ・中央監視装置更新工事 ・水道施設用光ケーブル敷設工事	435,673	456,544	319,709
11	老朽管更新事業	①	水道に係る老朽管の更新を進めます。[配水管布設替工事] ・大崎排水区(乗越)老朽管更新工事 ・需要給水配水館布設替工事	—		

		評価の内容	今後の方向性			
②生活道路に不満を感じていない市民(単位:%)		・「②生活道路に不満を感じていない市民」については、昨年度、道路愛護事業の財源確保や交付要件の見直しをし、利用は広がったが、市民意識調査の自由意見の中では、樹木、草刈りなどの整備が実施されていないこと、冬場の路面凍結への早めの対応などの意見が散見される。	・市道維持は安定した管理が必要なため、住民も協力した「みんなの道愛護事業」等の更なる推進により維持管理に努め、国・県道においては要望などを行い、継続的な維持ができる仕組みをつくる必要がある。			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	道路橋りょう維持管理事業	②	市道の維持修繕を行います。 ・市道緊急修繕、丸山橋修繕等工事 ・道路保守、点検、除排雪、支障木伐採、橋りょう等の点検、予防伐採等	323,516	322,478	262,465
2	道路維持管理支援事業	②	市民との協働により道路等の維持修繕を実施します。 ・みんなの道愛護事業 ・防犯灯設置補助事業 ・市民協働作業原材料支給事業	53,561	40,636	31,749
3	生活市道整備事業	②	市民の生活を支える道路を維持向上させるため、市民のニーズに応じた道路の整備を検討・実施します。 ・恵那病院線、中野方町71号線他工事	81,578	52,368	53,662

	評価の内容	今後の方向性
③通信環境に不満を感じていない市民 (単位:%)	・「③通信環境に不満を感じていない市民」については、市内各地で、通信環境の需要が増えているため、家庭内での通信環境は整備されているため目標値は達成されていると感じるが、家庭外での観光地や緊急時などに使用できるWi-Fiなどの整備する必要があると感じる。	・観光地や避難所など通信環境の需要が増えているため、Wi-Fiなどを整備する必要がある。

	評価の内容	今後の方向性
④ごみ収集サービスに不満を感じていない市民 (単位:%)	・「④ごみ収集サービスに不満を感じていない市民」は、目標を上回った。休日でも行われる収集、台風災害時などの収集に対しても状況に応じ変更等してきた成果がでた。 ・山岡町、上矢作町では地域管理での常設資源回収拠点が設けられ特に、家庭内のごみの減量化と資源化が同時に行え日時を問わず搬入できることから今後も設置地域を推進していく。	・引き続き、現行の収集サービスを維持すると共に、常設資源回収拠点の拡充に取り組む。

#### 実施事業

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	環境対策事業	-	河川、工場排水の水質、大気汚染物質、悪臭、騒音・土壌検査等の環境調査の継続により郊外の予防を行います。また、汚濁の負荷量が極めて高い阿木川周辺の工事に対して阿木川環境対策協議会や工場24時間排水検査を通して公害防止の強化を図ります。 ・ゴミ袋作成、販売事業 ・えな環境フェア	22,346	43,458	47,859
2	河川管理事業	-	暮らしを支える生活基盤を維持するため、河川管理を行います。 ・普通河川等維持管理	1,463	1,378	1,305
3	駐車場管理運営事業	-	駅前の市営駐車場を維持管理します。 ・恵那駅西駐車場等の維持管理	12,551	13,755	13,442

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	15 学ぶ力をつける		
目指す方向	学校教育や読書などをきっかけにして学ぶ習慣を付け、生涯を通して学び続ける人を育成します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①物事に積極的に挑戦する児童(小学6年生)(単位:%)	目標		71.0	72.0	73.0	74.0	75.0	○
	結果	71.7	72.9	74.6	-	76.5		
②物事に積極的に挑戦する生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	○
	結果	62.5	75.0	71.4	-	69.8		
③自主的な学習をしている市民(単位:%)	目標		62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	×
	結果	61.2	59.2	58.9	58.7	57.6		
	目標							B
	結果							
	目標							
	結果							

①物事に積極的に挑戦する児童(小学6年生)(単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
			・「①物事に積極的に挑戦する児童(小学6年生)」については、全国学力・学習状況調査の結果、目標は達成した。当初から、数値は上昇している。	・1人1台のタブレット端末や学習アプリを自主的に取り組めるような活用方法を考えていく必要がある。		
1	学校教育研究事業	①②	教育の資質向上と教育内容の充実のためテーマに基づく研究に取り組み学校教育の向上を図ります。 ・ハイパーQUテスト・知能検査等 ・副読本等印刷	11,760	13,190	10,267
2	特色ある教育推進事業	①②	特色ある教育推進のため、6名の外国語指導助手を導入し、各小中学校に配置して巡回し、英語教育及び外国語活動の充実を図っています。また、学校教育活動の充実・活性化させるための支援を行います。 ・外国語指導助手による教育推進 ・スケート教室 ・学校図書館維持運営	42,791	44,492	43,218
3	教育発達相談支援事業	①②	不登校の予防と適切な対応、特別支援教育の充実のため、教育相談の充実、適応指導教室の運営、発達障がいにかかる相談、教育・福祉・保健の連携による支援体制の構築、こども園・学校など関係機関との連携による就園、就学に関する相談、支援活動を実施します。 ・専門相談員の配置(心の教室、適応指導教室、教育発達相談センター等)	31,768	42,945	38,646
4	小学校教育振興事業	①	小学校の教育活動を充実、活性化させるため、学校情報化推進事業・理科教育施設整備事業・特色ある学校づくり事業・就学援助などを実施します。 ・ICT関連機器の維持メンテナンス、デジタル教材の導入 ・理科教育施設整備事業	128,454	110,195	116,413
5	各小学校教育振興事業(14校)	①	児童の学習活動の充実のために、よりよい教育環境の整備を推進します。 ※H30～ 15-①-4小学校教育振興事業で実施 【15-①-4再掲】 ・理科教育施設整備事業	14,973	0	0
6	中央公民館講座運営事業	①②③	市民が学ぶ力をつけるために、恵那市中央公民館が生涯学習の拠点施設となるよう社会教育指導員を配置し、市民講座の開設及び生涯学習活動団体の育成とその活動成果を発表する機会として恵那文化まつりを実施するとともに、青少年の健全育成を図るための科学の祭典(こどもフェスタ)や、子どもを対象とした講座を実施します。 ・学習機会の提供、生涯学習団体の育成を推進 ・子どもを対象とした講座の報償費	56,816	56,183	2,870

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
7	各コミュニティセンター講座運営事業(11ヶ所)	①②③	コミュニティセンターを地域の生涯学習の拠点施設とするため、市民講座や家庭教育学級の開催及び学習成果を発表する機会を提供するなど、市民の学習と交流の場としての事業を実施します。 ・市内11コミュニティセンターでの市民講座(267講座)	7,288	5,987	60,150
8	読書習慣づくり事業	①②③	子どもを対象に読書習慣づくりを図ります。 ・ブックスタート事業(7ヶ月検診) ・ファーストメッセージ事業(こども園入園時)。	367	254	364
9	読書環境推進事業	①②③	読書活動推進活動団体への支援や、小中学校・コミュニティセンター図書室への図書配送を行います。 ・ブックサポーター等による読書活動推進	4,323	2,072	1,691

②物事に積極的に挑戦する生徒(中学3年生) (単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	・「①物事に積極的に挑戦する児童(中学3年生)」については、全国学力・学習状況調査の結果、目標は達成した。当初から、数値は上昇している。			・1人1台のタブレット端末や学習アプリを自主的に取り組めるような活用方法を考えていくとが必要である。 【15-①再掲】		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	学校教育研究事業	①②	教育の資質向上と教育内容の充実のためテーマに基づく研究に取り組み学校教育の向上を図ります。 ・ハイパーQUテスト・知能検査等 ・副読本子等印刷	11,760	13,190	10,267
2	特色ある教育推進事業	①②	特色ある教育推進のため、6名の外国語指導助手を導入し、各小中学校に配置して巡回し、英語教育及び外国語活動の充実を図っています。また、学校教育活動の充実・活性化させるための支援を行います。 ・外国語指導助手による教育推進 ・スケート教室 ・学校図書館維持運営	42,791	44,492	43,218
3	教育発達相談支援事業	①②	不登校の予防と適切な対応、特別支援教育の充実のため、教育相談の充実、適応指導教室の運営、発達障がいにかかる相談、教育・福祉・保健の連携による支援体制の構築、こども園・学校など関係機関との連携による就園、就学に関する相談、支援活動を実施します。 ・専門相談員の配置(心の教室、適応指導教室、教育発達相談センター等)	31,768	42,945	38,646
4	中学校教育振興事業	②	中学校の教育活動を充実、活性化させるため学校情報化推進事業・理科教育施設整備事業・特色ある学校づくり事業・特別支援教育就学奨励事業・就学援助・部活動補助など実施します。 ・ICT関連機器の維持メンテナンス、デジタル教材の導入 ・理科教育施設整備事業 ・部活動補助	57,093	69,300	68,815
5	各中学校教育振興事業(8校)	②	生徒の学習活動の充実のために、よりよい教育環境の整備を推進します。 ※H30～ 15-②-4の中学校教育振興事業で実施 【15-②-4再掲】 ・ICT関連機器の維持メンテナンス、デジタル教材の導入 ・理科教育施設整備事業 ・部活動補助	10,282	0	0
6	中央公民館講座運営事業	①②③	市民が学ぶ力をつけるために、恵那市中央公民館が生涯学習の拠点施設となるよう社会教育指導員を配置し、市民講座の開設及び生涯学習活動団体の育成とその活動成果を発表する機会として恵那文化まつりを実施するとともに、青少年の健全育成を図るための科学の祭典(こどもフェスタ)や、子どもを対象とした講座を実施します。 ・学習機会の提供、生涯学習団体の育成を推進 ・子どもを対象とした講座の報償費	56,816	56,183	2,870

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
7	各コミュニティセンター講座運営事業(11ヶ所)	①②③	コミュニティセンターを地域の生涯学習の拠点施設とするため、市民講座や家庭教育学級の開催及び学習成果を発表する機会を提供するなど、市民の学習と交流の場としての事業を実施します。 ・市内11コミュニティセンターでの市民講座(267講座)	7,288	5,987	60,150
8	読書習慣づくり事業	①②③	子どもを対象に読書習慣づくりを図ります。 ・ブックスタート事業(7ヶ月検診) ・ファーストメッセージ事業(こども園入園時)。	367	254	364
9	読書環境推進事業	①②③	読書活動推進活動団体への支援や、小中学校・コミュニティセンター図書室への図書配送を行います。 ・ブックサポーター等による読書活動推進 ・読書活動推進委託	4,323	2,072	1,691

	評価の内容			今後の方向性		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
③自主的な学習をしている市民(単位:%)			<p>・「③自主的な学習をしている市民」については、年々減少している。市民講座全体では、子ども向けの講座への受講者が増加している。</p> <p>・世代を問わず参加できる魅力的な講座内容を検討する必要がある。 ・自主的に学習に取り組めるような、新たな取組が必要である。</p>			
1	歴史等専門人材バンク事業(H29まで)	③	郷土の歴史や文化に詳しい専門家を人材登録し、郷土学習に活用する。また、郷土学習の資料収集、整理、保存し、郷土学習資料として提供します。 ※H30～ 図書館運営経費(一般経費)で実施	86	—	—
2	中央公民館講座運営事業	①②③	市民が学ぶ力をつけるために、恵那市中央公民館が生涯学習の拠点施設となるよう社会教育指導員を配置し、市民講座の開設及び生涯学習活動団体の育成とその活動成果を発表する機会として恵那文化まつりを実施するとともに、青少年の健全育成を図るための科学の祭典(こどもフェスタ)や、子どもを対象とした講座を実施します。 ・学習機会の提供、生涯学習団体の育成を推進 ・子どもを対象とした講座の報償費	56,816	56,183	2,870
3	各コミュニティセンター講座運営事業(11ヶ所)	①②③	コミュニティセンターを地域の生涯学習の拠点施設とするため、市民講座や家庭教育学級の開催及び学習成果を発表する機会を提供するなど、市民の学習と交流の場としての事業を実施します。 ・市内11コミュニティセンターでの市民講座(267講座)	7,288	5,987	60,150
4	図書購入事業	③	中央図書館及びコミュニティセンターの資料購入を行います。 ・図書等の購入	11,489	11,332	11,439
5	読書習慣づくり事業	①②③	子どもを対象に読書習慣づくりを図ります。 ・ブックスタート事業(7ヶ月検診) ・ファーストメッセージ事業(こども園入園時)。	367	254	364

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
6	読書環境推進事業	①②③	読書活動推進活動団体への支援や、小中学校・コミュニティセンター図書室への図書配送を行います。 ・ブックサポーター等による読書活動推進 ・読書活動推進委託	4,323	2,072	1,691

### 実施事業

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	中学校の再編検討	-	中学校教育において、よりよい教育環境を提供するため、中学校の再編に向けた取り組みを検討・実施します。	0	0	0
2	高等教育振興事業	-	地域に定住し、地域の活力となる人材を育成するため、高校と地域、大学、企業等との緊密な連携を図り、魅力のある高校づくりを支援することに加え、恵那南高校に明知鉄道通学する生徒に通学定期の半額補助を実施します。 ・通学費補助事業 ・6次産業教育推進業務	5,593	6,484	5,501
3	成人教育推進事業(H28まで)	-	市民一人一人が生きがいをもって生涯学び続けるため、コミュニティセンターでの高齢者学級や学校の教室開放事業を実施します。	—	—	—

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	16 共に生きる力をつける		
目指す方向	家庭・学校・地域など社会全体で、思いやりやマナー、地域への誇りや愛着、社会参画意識の醸成など、社会性や協調性を有した豊かな心を持った人材を育てます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①地域の行事に参加している児童(小学6年生)(単位:%)	目標		89.0	90.0	90.0	90.0	90.0	×
	結果	89.1	88.6	83.6	84.4	87.9		
②地域の行事に参加している生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	○
	結果	61.4	64.4	68.0	68.1	71.1		
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	×
	結果	27.6	34.5	32.9	31.3	34.2		
④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	×
	結果	54.4	56.7	56.4	56.4	53.3		
	目標							C
	結果							

①地域の行事に参加している児童(小学6年生)(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	・「①地域の行事に参加している児童(小学6年生)」については、年々増加傾向にあり、学校と地域の連携による地域行事や、伝統行事等へ関わる機会が増加していることも1つの要因と思われる。			・引き続き、学校と地域の連携による地域行事の取組が必要である。また、保護者も参加してもらえる取組を検討する。一方で、負担と感ずる市民もいるため自主的に取り組める内容を検討していく必要がある。		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 三学のまち推進事業	①② ③④	三学の精神を理念に、生涯学習のまちづくりを推進するため、三学のまち講座、大学連携講座などの講座の開設、下田歌子賞などの先人顕彰事業、嚶鳴協議会参加による加盟市町との交流、生涯学習フォーラムの開催など、市民三学運動の推進を図る事業を実施します。 ・三学まちづくり支援事業 ・市民三学地域塾(13地域) ・大学連携講座、先人顕彰事業(梅村庄次郎、橋本幸八郎、山本誠之助)	8,465	6,819	6,249	
2 青少年育成事業	①② ③④	地域力を活用し、社会全体で恵那市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、青少年育成市民会議・町民会議、子ども会活動の支援、子ども教室の開催、困難を抱える子ども・若者の支援体制の構築事業を実施します。 ・放課後子ども教室 ・青少年の健全育成の推進	9,187	9,455	9,196	

②地域の行事に参加している生徒(中学3年生)(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
	・「②地域の行事に参加している生徒(中学3年生)」については、年々増加傾向にあり、学校と地域の連携による地域行事や、伝統行事等へ関わる機会が増加していることも1つの要因と思われる。			・引き続き、学校と地域の連携による地域行事の取組が必要である。また、保護者も参加してもらえる取組を検討する。一方で、負担と感ずる市民もいるため自主的に取り組める内容を検討していく必要がある。  【16-①再掲】		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 三学のまち推進事業	①② ③④	三学の精神を理念に、生涯学習のまちづくりを推進するため、三学のまち講座、大学連携講座などの講座の開設、下田歌子賞などの先人顕彰事業、嚶鳴協議会参加による加盟市町との交流、生涯学習フォーラムの開催など、市民三学運動の推進を図る事業を実施します。 ・三学まちづくり支援事業 ・市民三学地域塾(13地域) ・大学連携講座、先人顕彰事業(梅村庄次郎、橋本幸八郎、山本誠之助)	8,465	6,819	6,249	
2 青少年育成事業	①② ③④	地域力を活用し、社会全体で恵那市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、青少年育成市民会議・町民会議、子ども会活動の支援、子ども教室の開催、困難を抱える子ども・若者の支援体制の構築事業を実施します。 ・放課後子ども教室 ・青少年の健全育成の推進	9,187	9,455	9,196	

③まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
	・「③まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)」については、目標に達していないが、前年よりは増加した。		・小中学生を取り込んだ活動が増えることにより、保護者の参加も促すような取組をし、若い世代の参加率を上げることが必要である。		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	三学のまち推進事業 ①② ③④	三学の精神を理念に、生涯学習のまちづくりを推進するため、三学のまち講座、大学連携講座などの講座の開設、下田歌子賞などの先人顕彰事業、嚶鳴協議会参加による加盟市町との交流、生涯学習フォーラムの開催など、市民三学運動の推進を図る事業を実施します。 ・三学まちづくり支援事業 ・市民三学地域塾(13地域) ・大学連携講座、先人顕彰事業(梅村庄次郎、橋本幸八郎、山本誠之助)	8,465	6,819	6,249
2	青少年育成事業 ①② ③④	地域力を活用し、社会全体で恵那市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、青少年育成市民会議・町民会議、子ども会活動の支援、子ども教室の開催、困難を抱える子ども・若者の支援体制の構築事業を実施します。 ・放課後子ども教室 ・青少年の健全育成の推進	9,187	9,455	9,196

④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
	・「④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民」については、年々減少傾向である。 ・市民意識調査「問31①参加しなかった理由はなんですか?」をみると、「もともと参加するつもりがない、参加する機会を知らなかった」が、42.8%と高くなっている。		・小中学生を取り込んだ活動が増えることにより、保護者の参加も促すような取組をし、若い世代の参加率を上げることが必要である。 【16-③再掲】		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	三学のまち推進事業 ①② ③④	三学の精神を理念に、生涯学習のまちづくりを推進するため、三学のまち講座、大学連携講座などの講座の開設、下田歌子賞などの先人顕彰事業、嚶鳴協議会参加による加盟市町との交流、生涯学習フォーラムの開催など、市民三学運動の推進を図る事業を実施します。 ・三学まちづくり支援事業 ・市民三学地域塾(13地域) ・大学連携講座、先人顕彰事業(梅村庄次郎、橋本幸八郎、山本誠之助)	8,465	6,819	6,246
2	青少年育成事業 ①② ③④	地域力を活用し、社会全体で恵那市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、青少年育成市民会議・町民会議、子ども会活動の支援、子ども教室の開催、困難を抱える子ども・若者の支援体制の構築事業を実施します。 ・放課後子ども教室 ・青少年の健全育成の推進	9,187	9,455	9,196

#### 実施事業

事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	-	市民一人一人が人権に関心をもち、正しい理解と認識を深めるため、人権講演会を開催します。	45	0	1
2	-	家庭教育支援の充実を図るため、出産前の親や、1歳児を持つ親を対象に子育ての自信や対処能力を身につけることができる講座を実施します。 ※H30～ 1-③-13母子保健事業で実施 ・健診(乳幼児期)・相談・教室・訪問指導【再掲 1-③-13】	88	0	0



# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	17 生きがいをもって暮らす		
目指す方向	芸術・文化やスポーツ、社会活動、趣味などのさまざまな交流を通じ、楽しみながら充実した人生を送る機会に触れ、生活の質を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価	
①各種活動(文化・スポーツ・まちづくりなど)に参加した市民(単位:%)	目標		66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	✕	D
	結果	65.7	64.9	63.7	65.3	62.1			
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								

①各種活動(文化・スポーツ・まちづくりなど)に参加した市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性				
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
	1	文化芸術振興事業	①	芸術文化の振興ならびに伝統文化の保存等、市民文化の向上に寄与するため、公益財団法人恵那市文化振興会の組織や事業、活動のあり方を確立し、より自立的な活動を柔軟に進めていくための運営支援を行います。 ・恵那文化会館・かえてホール自主文化事業 ・文化振興会育成事業	32,097	29,109	25,561
	2	生涯スポーツ推進事業	①	市民一人ひとりが身近な場所や自身の生活様式に合わせて、楽しみながら生き生きと暮らすことができるよう、運動・スポーツを通じた健康づくりや運動習慣を身につける取り組みを行います。 ・こども園運動プログラム(中部大学との連携) ・生涯スポーツ推進	6,569	4,862	5,215
	3	地域スポーツ推進事業	①	地域における運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進していくために、「1地域1スポーツ」を目標に、運動・スポーツを通じたコミュニティづくりを目指します。 ・市民大会運営委託	13,341	13,564	14,990
	4	競技力向上推進事業	①	東京オリンピックの開催に向けて競技スポーツへの関心を高め、子どもたちの「上達したい」という意欲とやる気を育て、トップアスリートを育成するために、スポーツ指導者やスポーツボランティアの登録バンク制度を充実させるとともに、各種スポーツ団体への助成、選手の育成強化、指導者の資質向上を、講習会の開催や補助金で支援します。また、競技スポーツの観戦やトップアスリートとの交流機会を充実します。 ・競技力向上支援 ・ジャパンカップスピードスケート大会等支援	6,334	6,006	7,263
	5	スポーツ施設改修事業(H29~)	①	市民が身近な場所で運動・スポーツに親しむことができるよう、施設の現況を調査、把握しながら、総合的な施設の整備方針を検討し、改修工事を実施します。 ・まきがね公園改修工事	7,344	198,900	185,031

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策		18 まちの担い手になる	
目指す方向		移住・定住を推進し、地域の人口の維持を図るとともに、地域活動の参加者や活動団体を育成し、地域を担う力を高めます。	

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価	
①社会動態(転入と転出の差) (単位:人)	目標		-183	-137	-92	-46	0	×	D
	結果	-285	-197	-248	-88	-92			
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満) (単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	×	
	結果	27.6	34.5	32.9	31.3	34.2			
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	×	
	結果	54.4	56.7	56.4	56.4	53.3			
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								

①社会動態 (転入と転出の差) (単位:人)	評価の内容		今後の方向性		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「①社会動態(転入と転出の差)」は人口が減りつつある中で、△92人と、昨年より大幅に減少することなく保っている。</li> <li>・移住定住の取り組みの1つとして、空き家バンクを活用した事業について成果が出ている。成約件数は平成30年度に32件と初めて30件を超え、空き家改修補助金の利用件数も増加している。また、「田舎暮らしの本」(宝島社)2020年2月号における「住みたい田舎」ベストランキング調査で、東海エリア総合部門で第3位となり、これまでの移住定住施策が一定の評価を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな子育て世代の移住・定住を推進する事業内容を検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症に関連し、地方の働きやすさ、暮らしやすさをPRし移住・定住につなげる取組が必要である。</li> <li>・恵那くらしビジネスサポートセンターでの、暮らしや雇用について更なる活用を推進する必要がある。</li> </ul>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
130 移住・定住推進事業	①	子育て世代の移住・定住を推進するため、アパートの家賃補助や住宅土地購入補助、同居・近居支援、空き家改修補助、集落支援員の活用、婚活支援など、恵那市に住み続けられる総合的な環境づくりを検討・実施します。 ・移住定住推進補助事業 ・婚活イベント ・恵那暮らしサポートセンター運営	128,352	134,071	145,018

②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満) (単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)」については、目標に達していないが、前年よりは増加した。【16-③再掲】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を取り込んだ活動が増えることにより、保護者の参加も促すような取組をし、若い世代の参加率を上げることが必要である。【16-③再掲】</li> </ul>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 まちづくり市民活動推進事業	②③	地域活動の参加者や活動団体を育成し、地域を担う力を高めるために、市全域を対象に課題解決に向けて取り組むまちづくり活動団体等の活動の支援を実施します。 ・まちづくり市民活動支援	17,908	19,659	64,673
2 地域の拠点形成事業	②③	地域の活性化と人口維持を図るために、地域のまちづくり活動を推進する拠点施設の整備を、笠岡・明智・上矢作地域で検討・実施します。 ※H30～ 22-③-3 観光資源活用事業で実施	4,940	0	0
3 コミュニティセンター改修事業	②③	生涯学習をまちづくりにつなげ、コミュニティセンターが地域振興の拠点となるよう、振興事務所とコミュニティセンターが離れたところにある地区では施設の統合を実施し、老朽化している施設については計画的に改修を実施します。	90,782	78,095	0

③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民 (単位:%)	評価の内容		今後の方向性		
	・「④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民」については、年々減少傾向である。 ・市民意識調査「問31①参加しなかった理由は何ですか?」をみると、「もともと参加するつもりがない、参加する機会を知らなかった」が、42.8%と高くなっている。【16-④再掲】		・小中学生を取り込んだ活動が増えることにより、保護者の参加も促すような取組をし、若い世代の参加率を上げることが必要である。 【16-④再掲】		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	②③	地域活動の参加者や活動団体を育成し、地域を担う力を高めるために、市全域を対象に課題解決に向けて取り組むまちづくり活動団体等の活動の支援を実施します。 ・まちづくり市民活動支援	17,908	19,659	64,673
2	②③	地域の活性化と人口維持を図るために、地域のまちづくり活動を推進する拠点施設の整備を、笠周・明智・上矢作地域で検討・実施します。 ※H30～ 22-③-3 観光資源活用事業で実施	4,940	0	0
3	②③	生涯学習をまちづくりにつなげ、コミュニティセンターが地域振興の拠点となるよう、振興事務所とコミュニティセンターが離れたところにある地区では施設の統合を実施し、老朽化している施設については計画的に改修を実施します。	90,782	78,095	0

#### 施策評価

事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	-	男女共同参画社会の実現に向け、第2次恵那市男女共同参画プランを推進するため、プランの進行管理・新たな施策の検討などを行います。 ・男女共同参画の推進 ・第2次男女共同参画プランの推進	440	58	280

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策		19 地域自治力を高める	
目指す方向		地域の課題を自ら考え解決に取り組む力(地域自治力※)を高め、コミュニティの再生を図ります。	

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①地域計画の進捗(単位:%)	目標	各地域で地域計画の進行管理を行い、令和7年度に100%を目指す。					-	C
	結果	-	-	81.8	90.9	93.1	-	
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標	31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	×	
	結果	27.6	34.5	32.9	31.3	34.2	-	
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	×	
	結果	54.4	56.7	56.4	56.4	53.3	-	
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①地域計画の進捗(単位:%)	評価の内容				今後の方向性			
		・「①地域計画の進捗」については、各地域ごとの計画に基づき取り組みを進めており、年々進捗率が上がっている。				・まちづくりを応援したりファンづくりを進める、「ふるさと応援寄付金」などで財源確保に向けた取組が必要である。		
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	笠周地域活性化振興事業	①②③	笠周地域の人口減少・少子高齢化など様々な課題の解決に向けて策定した笠周地域振興計画(H26～H31)を推進し、地域有償運送、6次産業化など市の主要施策を進める上でのモデル地域とします。 ・五毛座駐車場整備事業 ・坂折棚田なごみの家駐車場整備事業			26,490	25,188	1,724
2	地域自治推進事業	①②③	地域自治力(地域課題の解決に向けて自らが考え取り組む力)を高めるため、地域自治区制度の充実に向けて、地域自治区運営協議会の活動を定着させ、地域のまちづくり活動への支援や地域に誇りと愛着を持ち、多くの人々が参加して魅力且つ活力あるまちづくり活動の支援を実施します。 ・ふさと応援寄付金(謝礼品) ・地域自治区活動支援(13地域) ・地域のまちづくり活動支援(地域単独事業67件、地域間連携事業9件)			134,112	121,273	128,662
3	過疎地域活性化振興事業	①②③	過疎地域の振興と自立促進に向けて、地域の特色を生かした住民福祉の向上、雇用の拡大、地域医療の確保、集落の維持活性化など、住民の安全、安心な暮らしの確保を図り、平成28年度に策定した恵那市過疎計画自立促進計画(H28～R2)を実施します。 ・地域営農支援事業 ・かみやはぎ日常生活支援事業			34,914	24,214	25,276

②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	評価の内容				今後の方向性			
		・「②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)」については、目標に達していないが、目標に達していないが、前年よりは増加した。 【16-③再掲】				・小中学生を取り込んだ活動が増えることにより、保護者の参加も促すような取組をし、若い世代の参加率を上げることが必要である。 【16-③再掲】		
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	笠周地域活性化振興事業	①②③	笠周地域の人口減少・少子高齢化など様々な課題の解決に向けて策定した笠周地域振興計画(H26～H31)を推進し、地域有償運送、6次産業化など市の主要施策を進める上でのモデル地域とします。 ・五毛座駐車場整備事業 ・坂折棚田なごみの家駐車場整備事業			26,490	25,188	1,724

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
2	地域自治推進事業	①②③	地域自治力(地域課題の解決に向けて自らが考え取り組む力)を高めるため、地域自治区制度の充実に向けて、地域自治区運営協議会の活動を定着させ、地域のまちづくり活動への支援や地域に誇りと愛着を持ち、多くの人々が参加して魅力且つ活力あるまちづくり活動の支援を実施します。 ・ふさと応援寄付金(謝礼品) ・地域自治区活動支援(13地域) ・地域のまちづくり活動支援(地域単独事業67件、地域間連携事業9件)	134,112	121,273	128,662
3	過疎地域活性化振興事業	①②③	過疎地域の振興と自立促進に向けて、地域の特色を生かした住民福祉の向上、雇用の拡大、地域医療の確保、集落の維持活性化など、住民の安全、安心な暮らしの確保を図り、平成28年度に策定した恵那市過疎計画自立促進計画(H28～R2)を実施します。 ・地域営農支援事業 ・かみやはぎ日常生活支援事業	34,914	24,214	25,276

③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	評価の内容			今後の方向性		
				・「③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民」については年々減少傾向である。 ・市民意識調査「問31①参加しなかった理由はなんですか？」をみると、「もともと参加するつもりがない、参加する機会を知らなかった」が、42.8%と高くなっている。 【16-④再掲】		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	笠周地域活性化振興事業	①②③	笠周地域の人口減少・少子高齢化など様々な課題の解決に向けて策定した笠周地域振興計画(H26～H31)を推進し、地域有償運送、6次産業化など市の主要施策を進める上でのモデル地域とします。 ・五毛座駐車場整備事業 ・坂折棚田なごみの家駐車場整備事業	26,490	25,188	1,724
2	地域自治推進事業	①②③	地域自治力(地域課題の解決に向けて自らが考え取り組む力)を高めるため、地域自治区制度の充実に向けて、地域自治区運営委員会の活動を定着させ、地域のまちづくり活動への支援や地域に誇りと愛着を持ち、多くの人々が参加して魅力且つ活力あるまちづくり活動の支援を実施します。 ・ふさと応援寄付金(謝礼品) ・地域自治区活動支援(13地域) ・地域のまちづくり活動支援(地域単独事業67件、地域間連携事業9件)	134,112	121,273	128,662
3	過疎地域活性化振興事業	①②③	過疎地域の振興と自立促進に向けて、地域の特色を生かした住民福祉の向上、雇用の拡大、地域医療の確保、集落の維持活性化など、住民の安全、安心な暮らしの確保を図り、平成28年度に策定した恵那市過疎計画自立促進計画(H28～R2)を実施します。 ・地域営農支援事業 ・かみやはぎ日常生活支援事業	34,914	24,214	25,276

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策		20 さまざまな担い手がつながる	
目指す方向		さまざまな担い手(地域自治体、人、学校、民間企業など)がそれぞれの特長を活かしながら、効果的に協力・連携し、相乗効果を発揮します。	

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
連携の事例	目標		*	*	*	*	*	-	—
	結果		—	1事業	1事業	9協定	—		
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								

※連携の実績紹介により、活動の質と量を示す指標とします。

		評価の内容		今後の方向性		
連携の事例(H29-H30)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携協定により、「地域農業の活性化」、「学校教育の充実」、「地域産業を担う人材の育成」を図るとともに、エゴマレシピ普及及びプロジェクトでは、商品開発が進められ、10月、11月には恵那農業高等学校生徒が考案したレシピをもとに、市内のプロの料理人6名の知恵と技術を加え素材を生かしたエゴマ料理を各店舗にて提供した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に商品開発を進め商品化につなげる必要がある。</li> <li>・まちづくりにいろいろな人が携わり、より効果的な取り組みをしていく。</li> </ul>		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	花咲か里山プロジェクト事業【産・官・学連携事業】	-	恵那農業高校、地元企業(田口建設株式会社)、恵那市の連携協定による、長島町久須見地区内での耕作放棄地を活用した事業を実施した。連携協定により、「地域農業の活性化」、「学校教育の充実」、「地域産業を担う人材の育成」を図るとともに、採蜜、農作物を活用した新たな商品開発を行うこととした。取り組みとしては、耕作放棄地にエゴマ・レンゲ・ブルーベリー等を植栽することにより、養蜂の蜜源を確保し、採取したエゴマと蜂蜜からエゴマパン、ハチミツ、エゴマみそ、エゴマ油といった商品開発を行った。平成30年度は面積を2,000㎡拡大し、蜂蜜も1群から6群に増やして活動を拡大した。【中山間地農業ルネッサンス推進事業費補助金活用】	—	—	—

		評価の内容		今後の方向性	
連携の事例(R元年度)		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年に協定をした内容</li> <li>・恵那市高齢者見守り活動協定(恵那市恵南商工会)</li> <li>・災害時における電気設備等復旧に関する協定(岐阜県東部電気工事共同組合)</li> <li>・県立恵那南高等学校活性化に係る三者連携協力に関する協定(県立恵那南高等学校、(株)恵那川上屋)※再協定</li> <li>・2020年東京オリンピック事前キャンプ地に関する協定(ポランドカヌー連盟)</li> <li>・災害時の状況調査に関する協定(一般財団法人岐阜県測量設計業協会東濃地区協議会)</li> <li>・キャッシュレス決済の推進に関する連携協定((株)十六銀行、(株)十六カード、十六コンピュータサービス(株))</li> <li>・ICTを活用した地域活性化と市民サービスの向上に向けた連携協定(ソフトバンク(株))</li> <li>・森林保全に関する連携と協力の包括協定(コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、中野方地域協議会、岐阜県)※協定区域の拡大と、期間延長</li> <li>・中部大学との連携に関する協定(中部大学)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定に基づいた具体的な事業の取組が必要である。</li> </ul>	

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策	21 産業を育成・支援する		
目指す方向	新分野産業の育成、既存企業の育成、農林業の経営基盤の強化など、産業の高度化・転換を推進し、安定した雇用と地域の活力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①民有林(市有林含む)間伐面積 (単位:ha)	目標	700	750	800	850	900	×	C
	結果	675	659	535	637	590		
②経営耕地面積(単位:ha)	目標	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	×	
	結果	2,253	2,255	2,234	2,211	2,200		
③農業の担い手の組織数 (単位:経営体数)	目標	110	112	114	116	118	○	
	結果	113	162	149	149	148		
④製造品出荷額等(単位:億円)	目標	1,600	1,630	1,630	1,660	1,720	×	
	結果	1,566	1,534	1,498	1,569	1,658		
⑤商業の活力が、普通以上だと感じている市民(単位:%)	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	○	
	結果	45.0	42.7	40.1	46.5	51.5		

①民有林(市有林含む)間伐面積 (単位:ha)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	林業基盤維持管理事業	①	森林の多面的機能を発揮させるため、市が管理する138路線の林道を適切に管理します。また、原材料支給により地元での森林管理意識の高揚を図ります。 ・林道維持修繕 ・林道維持補修工事	31,586	25,279	25,386
			森林整備の推進、林業生産性の向上、山村地域の振興を図るため、国県補助事業を活用し林道の改良・舗装等を効率的・効果的に実施します。 ・橋梁点検業務委託 ・公共林道事業、県単林道事業 ・集落環境保全整備事業	81,923	82,118	81,031

②経営耕地面積 (単位:ha)	評価の内容		今後の方向性			
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	農業振興地域整備促進事業	②③	優良農地の保全・確保と農業振興を図るため、「恵那農業振興地域整備計画」の推進を実施します。[H28・29、H31・32:情勢の推移による計画変更、H30:基礎調査による計画変更]	3,234	2,681	345
			農地・農業の多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動の継続、環境保全に効果の高い営農を支援します。 ・中産間地域等直接支払推進交付金 ・多面的機能支払交付金	316,820	333,683	34,228
3	鳥獣害対策事業	②③	鳥獣による被害から農地を守るため、電気柵等の設置費の助成、捕獲実施隊への捕獲奨励金の助成、猟友会員の負担軽減のため免許の新規・更新手続きの助成の対策を実施します。 ・有害鳥獣捕獲奨励 ・有害鳥獣捕獲対策事業 ・農作物被害防止対策	15,423	17,991	7,902
			急速な高齢化とともに担い手が減少する中、基幹産業を持続可能なものとするべく新規就農者、認定農業者及び農業生産組織への支援により担い手の育成支援を実施します。 ・農業次世代人材投資事業 ・元気な農産産地構造改革支援事業 ・担い手確保・経営強化支援事業	60,695	60,743	41,222
5	農産物振興事業	②③	農業振興に関する特産品の育成支援と、各地域の特色を伸ばしつつ、強い農業の振興を図ります。 ・花咲か里山プロジェクト ・もうかる農業プロジェクト ・耕作放棄地解消事業	15,084	14,315	13,092

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
6	農業基盤整備事業	②③	農業基盤(農地造成、かんがい排水、ため池等)の整備を行います。 ・県営中山間地域総合整備事業 ・県営ため池等総合整備事業 ・県営ため池防災対策事業	112,023	128,508	155,272
7	農業基盤維持管理事業	②③	土地改良施設の機能維持のため、維持補修工事、管理委託、原材料支給等を行います。また、土岐川防災ダム一部事務組合負担金や、えな土地改良区運営補助金等を支出し、施設の適正管理を行います。 ・施設管理(ため池管理、農地防災ダム、観測点検等)	25,916	24,551	24,118

③農業の担い手の組織数 (単位:経営体数)	評価の内容		今後の方向性			
	・「③農業の担い手の組織数」については、認定認定農業者が減少したものの、新たな農業者が認定を受けるなど減少を最小限に止めることができた。		・新規就農者の確保や、組織化により各地域において農業を担う人材の確保を進める。			

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	農業振興地域整備促進事業	②③	優良農地の保全・確保と農業振興を図るため、「恵那農業振興地域整備計画」の推進を実施します。[H28・29、R1・R2:情勢の推移による計画変更、H30:基礎調査による計画変更] ・農業振興地域整備計画に基づく優良農地の保全・確保	3,234	2,681	345
2	農地保全促進事業	②③	農地・農業の多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動の継続、環境保全に効果の高い営農を支援します。 ・中産間地域等直接支払推進交付金 ・多面的機能支払交付金	316,820	333,683	34,228
3	鳥獣害対策事業	②③	鳥獣による被害から農地を守るため、電気柵等の設置費の助成、捕獲実施隊への捕獲奨励金の助成、猟友会員の負担軽減のため免許の新規・更新手続きの助成の対策を実施します。 ・有害鳥獣捕獲奨励 ・有害鳥獣捕獲対策事業 ・農作物被害防止対策	15,423	17,991	7,902
4	担い手育成事業	②③	急速な高齢化とともに担い手が減少する中、基幹産業を持続可能なものとするべく新規就農者、認定農業者及び農業生産組織への支援により担い手の育成支援を実施します。 ・農業次世代人材投資事業 ・元気な農産産地構造改革支援事業 ・担い手確保・経営強化支援事業	60,695	60,743	41,222
5	農産物振興事業	②③	農業振興に関する特産品の育成支援と、各地域の特色を伸ばしつつ、強い農業の振興を図ります。 ・花咲か里山プロジェクト ・もうかる農業プロジェクト ・耕作放棄地解消事業	15,084	14,315	13,092
6	農業基盤整備事業	②③	農業基盤(農地造成、かんがい排水、ため池等)の整備を行います。 ・県営中山間地域総合整備事業 ・県営ため池等総合整備事業 ・県営ため池防災対策事業	112,023	128,508	155,272
7	農業基盤維持管理事業	②③	土地改良施設の機能維持のため、維持補修工事、管理委託、原材料支給等を行います。また、土岐川防災ダム一部事務組合負担金や、えな土地改良区運営補助金等を支出し、施設の適正管理を行います。 ・施設管理(ため池管理、農地防災ダム、観測点検等)	25,916	24,551	24,118
8	畜産振興事業	③	畜産振興に関する事業を実施するため、東濃牧場土地借上料、人工授精業務、効率的乳用後継牛確保対策支援事業、乳用牛素牛導入促進対策事業、死亡牛BSE検査事業、性別別精液普及支援事業、飛驒牛生産基盤強化対策事業、強い畜産構造改革支援事業等の補助を行い畜産振興を図ります。 ・家畜の疾病治療及び予防	19,511	20,628	100,380



	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
9	家畜診療事業	③	安定的な畜産業を行うため、家畜診療業務、受精卵移植、家畜衛生、家畜改良・増殖、家畜自衛防疫、家畜法定伝染病(口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ等)の予防・対策を実施します。 ・豚コレラ対策防止柵設置工事 ・強い畜産構造改革支援事業	9,398	8,432	8,291

		評価の内容		今後の方向性		
④製造品出荷額等 (単位:億円)		・「④製造品出荷額等」については、パルプ・紙加工品製造業・窯業・土石製品製造業、輸送用機械器具製造業が増加したことにより前年度より増加したと考えられる。		・市内に立地する既存企業の振興策を図ると共に、引き続き、企業誘致活動を進め、新たな工業団地造成を進めていく。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	商工業振興事業	④⑤	商工業の振興に資するため、商工会議所、商工会その他の商工団体の事業支援を行います。 ・商店街活性化支援 ・恵那暮らしビジネスサポートセンター等事業 ・シニア雇用推進事業	64,408	74,465	71,849
2	起業・恵那ブランド育成事業	④⑤	産業の活性化に向け、中小企業の支援、起業・創業支援を含む恵那ブランド支援。 ・中小企業小口融資事業 ・利子補給・保証料補給 ・商店街活性化事業 ・商工振興補助	109,552	112,005	111,145
3	企業団地開発事業	④⑤	市外からの企業誘致や市内企業の拡張を図るため、新たな企業団地の開発を検討・実施します。[恵那西工業団地(土地開発公社実施)、H28-R2:新たな企業団地の検討]	0	0	0

		評価の内容		今後の方向性		
⑤商業の活力が、普通以上だと感じている市民 (単位:%)		・「⑤商業の活力が、普通以上だと感じている市民」については、正家第二区画整理事業や、チェーン店の進出などにより買い物により便利となったことで増加に繋がっていると思われる。一方で、地元商店については、市民意識調査では、「駅前が寂しい」などの意見があるため地元商店への支援策が必要となっている。		・地元商店の活性化や、市内事業者の人材確保などの更なる支援が必要と考えられる。		
	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	商工業振興事業	④⑤	商工業の振興に資するため、商工会議所、商工会その他の商工団体の事業支援を行います。 ・商店街活性化支援事業 ・恵那ビジネスサポートセンター等事業 ・シニア雇用事業 ・恵那市プレミアム付商品券事業	64,408	74,465	71,849
2	起業・恵那ブランド育成事業	④⑤	産業の活性化に向け、中小企業の支援、起業・創業支援を含む恵那ブランド支援。 ・中小企業小口融資事業 ・利子補給・保証料補給 ・商店街活性化事業 ・商工振興補助	109,552	112,005	111,145
3	企業団地開発事業	④⑤	市外からの企業誘致や市内企業の拡張を図るため、新たな企業団地の開発を検討・実施します。[恵那西工業団地(土地開発公社実施)、H28-R2:新たな企業団地の検討]	0	0	0

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策		22 交流と連携で元気になる	
目指す方向		観光まちづくりや都市農村交流などを通じ、地域が主体となって地域資源の魅力を磨き上げ、内外にその魅力を発信し、まちの活力を高めます。	

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①観光入込客数(延べ)(単位:万人)	目標		405	410	415	420	425	×	B
	結果	384	384	376	416	392			
②都市農村交流人口(延べ)(単位:人)	目標		1,230	1,250	1,270	1,300	1,350	○	
	結果	1,127	1,298	1,544	1,462	1,528			
③文化・スポーツ交流人口(延べ)(単位:千人)	目標		203	205	208	210	213	○	
	結果	202	254	265	495	326			
	目標								
	結果								
	目標								
	結果								

①観光入込客数(延べ)(単位:万人)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「①観光入込客数」は、前年からは24万人の減少となった。その他、R1年では道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里リニューアル工事による休業で、大きな減少があった。H26年と比較して、宿泊客数は114.7%、アウトドア施設・キャンプ地等は110.5%、山城や歴史に関連した、岩村町、明智町の観光客数は168.6%と増加している。</p>	<p>・今後も地域資源の魅力を磨き上げ地域が主体となって実施し、内外にその魅力を発信出来るよう検討する必要がある。</p> <p>・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送にあわせた取組も一時的なもので終わらないような工夫が必要である。</p> <p>・恵那峡、道の駅そばの郷らっせいみさと、道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里などリニューアルを活かす工夫が必要である。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 観光PR事業	①	観光交流人口の拡大を目指すため、誘客へ繋がる観光ガイドブックの充実やメディアでのPR、各種プロモーション等を広域連携も含めて効果的に実施し、「観光恵那」の魅力を積極的に発信します。 ・観光パンフレット作製 ・宿泊割引クーポン事業 ・日帰り入浴施設割引クーポン	35,629	52,741	25,719
2 観光資源活用事業	①	恵那市内の観光地及び観光資源を磨き上げ、誘客強化を目指します。 ・道の駅ラフォーレ福寿の里改修工事 ・恵那峡再整備事業 ・明智光秀ゆかりの地・白鷹城跡サイン整備	540,726	356,579	496,042
3 観光担い手育成事業	①	恵那市の観光の担い手である一般社団法人恵那市観光協会等を育成強化し、各種の活性化施策を支援します。 ・地域商社事業 ・観光振興補助	22,676	22,124	24,987

②都市農村交流人口(延べ)(単位:人)	評価の内容		今後の方向性		
		<p>・「②都市農村交流人口」は、棚田事業(棚田オーナー、棚田イベント)や農業体験の受入側の継続的な実施も成果が出ている要因と考えられる。</p>	<p>・これまでの取組に加え、新たな棚田地域振興法を活用するなど、棚田地域の振興を図ることも必要である。</p> <p>・市内の魅力ある農村地域資源を生かした体験農業や農泊により、都市住民との交流を推進していく。</p>		
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1 都市農村交流事業	②	都市農村交流事業や農産物直販所を利用した地域農産物の販売促進などの地域の農業振興を行います。 ・棚田景観保全 ・都市農村交流事業	409	210	347

③文化・スポーツ交流人口(延べ)(単位:千人)	評価の内容		今後の方向性			
	・「③文化・スポーツ交流人口」は、H30年度と比較すると減少しているが、当初から見ると交流人口は伸びをみせている。		・ポーランドカヌーチームによる事前キャンプや、FIA世界ラリー選手権(WRC)日本ラウンド「Rally Japan」などを活用した、新たな層の交流人口の創出に向けた取組を強化していく。 ・笠置地区にある地域資源を活用したボルダリングは競技者から一定の評価を受けているが、PRを幅広く実施し更なる交流人口を増やしていく。			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1 国際交流推進事業	③	国際感覚豊かな人材を育成するために国際交流事業等を推進し、恵那市国際交流協会やモンゴル国友好協会の活動の支援を実施します。 ・国際交流の推進 ・国際交流会事業支援	8,238	5,654	6,084	
2 スポーツツーリズム推進事業	③	運動・スポーツと市内の観光資源を融合させ、観光まちづくりや地域振興につなげるために、積極的に合宿を誘致するとともに、観光協会と連携し、スポーツツーリズムを推進します。 ・スケート場を活用したイベントの充実 ・恵那峡ハーフマラソン ・大正村クロスカントリー	18,538	39,704	47,351	
3 モータースポーツ推進事業(H30～)	③	交流人口の拡大と地域活性化を図るため、モータースポーツを通じた地域振興を推進します。 ・FIA/JAF公認 女性ドライバー限定ラリー(L1)	—	1,500	6,818	

# 施策評価シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策	23 持続可能な社会をつくる		
目指す方向	6次産業化による付加価値向上や地域内消費の促進、再生可能エネルギーの利活用など、地域内で経済やエネルギーが循環する社会を形成し、地域の自立と活力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①農産物等直販施設の販売額 (単位:百万円)	目標		505	510	515	520	550	×
	結果	488	465	470	476	470		
②年間資源リサイクル率(単位:%)	目標		56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	○
	結果	55.7	62.9	62.9	61.8	60.9		
	目標							B
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

①農産物等直販施設の 販売額 (単位:百万円)	評価の内容			今後の方向性				
		<p>・「①農産物等直販施設の販売額」について、目標指標達成には至らなかったが、販売額は増加傾向にある。道の駅上矢作ラフォーレ福寿の里の改修や、生産者から直接買えるたべとるマルシェの開催等により販路の拡大を行っており、継続して販売拠点の整備・運営についても検討を進めている。また、地産地消率向上のため、学校給食などへ地場産農産物を納入する方への助成を行っており、平成29年度助成額235千円(4312kg)、平成30年度助成額731千円(8574kg)と実績を伸ばしている。</p>			<p>・直販所については、ジバスクラムを活用することも一つの方法である。 ・販売・流通の拠点づくりに向けた検討など、地産地消を推進していくための取組が必要である。</p>			
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	地産地消推進事業	①	<p>学校給食において、子供たちがより身近に感じるよう地産地消を通じた食農教育を推進し、地元農産品の消費の拡大を図ります。 ・学校給食地産地消推進事業補助金 ・学校給食農産物納入補助金</p>			1,726	2,682	6,719

②年間資源リサイクル率 (単位:%)	評価の内容			今後の方向性				
		<p>・「②年間資源リサイクル率」について、目標指標達成しているが、引き続き現在の取り組みを進めると共に、新たな方法も検討しリサイクル率の更なる向上を目指す。また、山岡町、上矢作町では地域管理での常設資源回収拠点が設けられ特に、家庭内のごみの減量化と資源化が同時に行え日時を問わず搬入できることから今後も設置地域を推進していく。</p>			<p>・引き続き地球温暖化防止に向け、ごみ減量化の取組として、常設資源回収拠点の拡充、資源回収を継続していく。 ・今後は、SDGsの視点を入れた取組を進める。</p>			
事業名	目標指標	事業内容			H29決算	H30決算	R1決算	
1	ごみ減量化対策事業	②	<p>ごみ減量化に向けた取り組みは、恵那市3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進施設「ふれあいエコプラザ」の活用、環境美化活動、資源集団回収活動補助、ごみステーションの管理用品や原材料の支給を行い、恵那市の循環型社会形成づくりを実施します。 ・常設資源回収拠点設置 ・ふれあいエコプラザ運営</p>			13,460	13,209	12,765

## 実施事業

事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	-	再生可能エネルギー推進事業として、ZEH住宅(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)の研究、市内小中学校でのグリーンカーテン設置の導入促進など、二酸化炭素削減についての促進啓発、研究事業を行う。	5,353	0	0

	事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
2	地域材利用 促進事業	-	間伐促進と地場産業の活性化のため、未利用材搬出への補助を実施します。 また、市内産及び県内産の木材を利用した木造住宅の促進を図ることを実施し ます。 ・間伐促進地域活性化事業	2,874	3,355	2,785

# 施策評価シート

理念	市政の運営	基本目標	市政の運営
基本施策	24 市民サービスが向上する		
目指す方向	市民ニーズに応じた行政サービスを提供するとともに、健全な行財政運営により、公共サービスを継続的・効果的に提供します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	R1	R2	達成状況	評価
①行政の窓口や電話対応などに不満を感じていない市民(単位:%)	目標	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	×	B
	結果	88.9	88.5	87.4	87.8	88.4		
②市債残高(単位:億円)	目標	334	328	322	315	306	○	
	結果	342	308	295	292	280		
③経常収支比率(単位:%)	目標	87.2	88.3	89.3	90.1	91.1	○	
	結果	85.4	85.0	86.0	84.3	85.9		
④実質公債費比率(単位:%)	目標	9.8	10.9	11.5	12.0	12.2	○	
	結果	9.3	7.1	6.0	4.3	2.7		
目標								
結果								

①行政の窓口や電話対応などに不満を感じていない市民(単位:%)	評価の内容		今後の方向性			
		<p>・「①行政の窓口や電話対応などに不満を感じていない市民」について、市民サービス向上の一環として毎月最終日曜日に休日開庁を実施することが定着し、令和元年度の利用者は1,624人と、増加している。また、ワンストップ窓口を実施し、窓口での待ち時間を減らしたことが評価されている。</p> <p>・電子マネー、モバイル決済等を用いたキャッシュレスの利用が拡大している中、市民の利便性の向上及びキャッシュレス決済の普及を図るため市指定金融機関である十六銀行、十六カードおよび十六コンピューターサービスが連携協定を締結した。キャッシュレスでの証明手数料支払い:市民課93件、税務課6件。スマートフォンアプリでの納税支払い:国民健康保険料1件、固定資産税1件、水道料金81件。</p>	<p>・市民サービス向上のため、常に改善を進める。</p> <p>・キャッシュレス窓口の拡充や、後期高齢者医療保険料、介護保険料のスマートフォンアプリでの支払いなどを拡充していく。また、今後の公共料金の未払いなどの減少につながるようPR等が必要である。</p> <p>・恵那中央出張所の市民窓口の充実に取り組む。</p>			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1	総合計画推進事業	<p>① 第2次総合計画(H28-R7)の将来象「人・地域・自然が輝く交流都市」～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～の実現に向け、多様な主体との連携を図り、目標人口47,400人に向け設定した「小学校入学児童数450人」を達成するよう、人口減少対策に集中的に取り組みます。[総合計画推進市民委員会による進行管理及び施策評価等]</p> <p>・市民意識調査等アンケート</p> <p>・総合計画・総合戦略検討及び進捗状況等の審議</p>	8,151	7,016	9,204	
2	その他市民ニーズに対応したサービス提供	<p>① 毎月最終日曜日に市役所西庁舎1階にて一部の休日窓口開庁事業を開始しました。</p> <p>・休日窓口開庁事業(毎月最終日曜日)</p>	—	—	—	

②市債残高(単位:億円)	評価の内容		今後の方向性			
		<p>・「②市債残高」については、繰上げ償還をしているため、年々減少している。</p>	<p>・引き続き市債を減らしていくよう努める。</p>			
事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算	
1	行財政改革推進事業	<p>②③④ 第3次行財政改革大綱(H28-H32)の基本理念を「地域経営力の向上による持続可能なまちづくり」として、各地域の課題を的確に捉え、コスト意識やスピード感をもって課題解決に邁進する「地域経営」の確立を目指します。大綱に示した行財政改革を着実に推進するため、基本方針を「市民の視点に立った行政サービスの向上(「質」の改革)」と「簡素で効率的な行政経営の確立(「量」の改革)」とし、58項目からなる行財政改革行動計画を策定し、毎年、進捗状況・達成度を評価するなど計画を進めます。</p> <p>・第3次行財政改革大綱、行財政改革行動計画の進捗状況等の審議</p>	633	79	70	

		評価の内容		今後の方向性			
		・「③経常収支比率」については、毎年85%前後で推移している。		・恵那市中・長期財政計画では、令和7年度には88.0%と推計されているため、維持できるよう努める。			
③経常収支比率(単位:%)		事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	行財政改革推進事業	②③④	第3次行財政改革大綱(H28-R2)の基本理念を「地域経営力の向上による持続可能なまちづくり」として、各地域の課題を的確に捉え、コスト意識やスピード感をもって課題解決に邁進する「地域経営」の確立を目指します。大綱に示した行財政改革を着実に推進するため、基本方針を「市民の視点に立った行政サービスの向上(「質」の改革)」と「簡素で効率的な行政経営の確立(「量」の改革)」とし、58項目からなる行財政改革行動計画を策定し、毎年、進捗状況・達成度を評価するなど計画を進めます。 ・第3次行財政改革大綱、行財政改革行動計画の進捗状況等の審議	633	79	70	

		評価の内容		今後の方向性			
		・「④実質公債費比率」については、繰上償還により公債費が減少してきたため、実質公債費比率も減少傾向である。		・引き続き市債を減らしていくよう努める。 ・恵那市中・長期財政計画では、令和7年度には4.5%と推計されているため維持できるよう努める。			
④実質公債費比率(単位:%)		事業名	目標指標	事業内容	H29決算	H30決算	R1決算
1	行財政改革推進事業	②③④	第3次行財政改革大綱(H28-R2)の基本理念を「地域経営力の向上による持続可能なまちづくり」として、各地域の課題を的確に捉え、コスト意識やスピード感をもって課題解決に邁進する「地域経営」の確立を目指します。大綱に示した行財政改革を着実に推進するため、基本方針を「市民の視点に立った行政サービスの向上(「質」の改革)」と「簡素で効率的な行政経営の確立(「量」の改革)」とし、58項目からなる行財政改革行動計画を策定し、毎年、進捗状況・達成度を評価するなど計画を進めます。 ・第3次行財政改革大綱、行財政改革行動計画の進捗状況等の審議	633	79	70	